# ◆ 杉並区 ◆ 中小企業の景況

令和5年度第4四半期 (令和6年1月~3月)

₩ 杉並区産業振興センター

#### 目 次

都内中小企業の景況(令和6年1月~3月期)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
杉並区内中小企業の景況(令和6年1月~3月期)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
杉並区内各業種別業況の動きと来期の予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
業種別業況の動き(実績)と来期の予測(東京都・杉並区の比較)・・・・・・	4
<ul><li>製造業 ····································</li></ul>	6
• 卸売業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	9
<ul><li>小売業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</li></ul>	12
<ul><li>サービス業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	16
<ul><li>建設業 ····································</li></ul>	20
<ul><li>不動産業 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</li></ul>	23
経営者の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
日銀短観·····	27
杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
特別調査「中小企業における人材戦略について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
中小企業景況調査 比較表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
中小企業景況調査 転記表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37

#### 調査方法・対象と回収状況

1 調査機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課

2 調査方法 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査

3 調査時期 令和6年1月~3月期を対象に令和6年3月上旬に実施

4実施状況207 事業所5未回収事業所数2 事業所

(内訳) 倒産・廃業 0 調査拒否 0 事業転換 0 取引解消 0

移 転 1 休 業 0 不在が続く 0 そ の 他 1

6 有効回答事業所数 205 事業所 有効回答率 99.0%

#### [回答事業所数の規模別内訳]

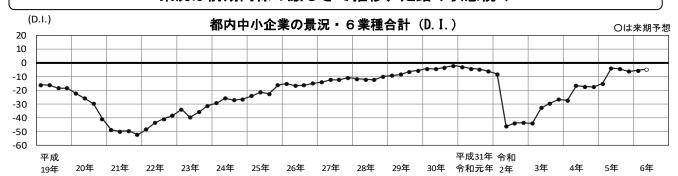
(単位:事業所数・%)

											(十四・チィ	4777204 : -7
			有効回答 事業所数	4人以下	5~9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 39人	40~ 49人	50~ 99人	100~ 199人	200~ 300人
製	造	業	27	7	6	6	3	1	0	2	2	0
卸	売	業	20	9	2	4	3	0	2	0	0	0
小	売	業	37	16	13	6	0	0	0	2	0	0
サ	ービ	ス業	47	16	12	5	3	7	0	2	2	0
建	設	業	49	9	16	13	5	2	3	1	0	0
不	動	全 業	25	12	8	2	0	1	1	1	0	0
業	種	計	205	69 (33.7)	57 (27.8)	36 (17.6)	14 (6.8)	11 (5.4)	6 (2.9)	8 (3.9)	4 (2.0)	0 (0.0)

1.314	120 1	(X)							
			大きく上昇	上 昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下 降	大きく下降
							N ::		
製	造	業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21 <b>~</b> -30	-31以下
卸	売	業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21 <b>~</b> -30	-31以下
小	売	業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31 <b>~</b> -40	-41以下
サ -	ービス	業	15以上	14~5	<b>4∼</b> -5	-6 <b>~</b> -15	-16~-25	-26 <b>~</b> -35	-36以下
建	設	業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21 <b>~</b> -30	-31以下
不	動産	業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31 <b>~</b> -40	-41以下
			好調						不調

# 都内中小企業の景況(令和6年1月~3月期)

#### 業況は前期同様の厳しさで推移、足踏み状態続く



今期の6業種合計の業況判断 DI は、△5.5 (前期△6.1) と前期 同様の厳しさで推移し、足踏み状態が続いた。

業種別で見ると、業況は建設業においてわずかに良好感が強 まったものの、その他の業種は前期同様の水準で推移した。

来期は、製造業、卸売業においては水面下ながらわずかに改善 し、建設業は今期並の良好感が続くものの、不動産業は好調感が 後退し、小売業、サービス業は今期同様の厳しさが続くと予想し ている。

			前期	今期	増減	来期予測	今期との増減
製	造	業	-9.0	-9.1	-0.1	-6.9	2.2
卸	売	業	-9.1	-8.7	0.4	-6.4	2.3
<b>/</b> ]\	売	業	-15.0	-14.4	0.6	-13.3	1.1
₩·	ービス	業	-5.8	-6.3	-0.5	-4.8	1.5
建	設	業	8.1	10.5	2.4	10.4	-0.1
不	動産	業	5.5	5.9	0.4	1.9	-4.0
総		卟	-6.1	-5.5	0.6	-4.6	0.9

※前期(令和5年10月~12月)

※来期(令和6年4月~6月)

※業況判断 DI:「良い」企業割合-「悪い」企業割合 季節調整済

#### < 製冶業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は増減なく推移し、受注残・収益は前期並の減少が続いた。価格面では販売価格・原材料価 格ともに前期並の上昇が続いた

経営上の問題点の上位2位は「原材料高」、「売上の停滞・減少」の順となり、重点経営施策の上位2位は「販路を広げる」、「経費を節 減する」の順となっている。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想している。売上額は増減なく推移し、受注残・収益は今期並の減少が続くと見ている。

#### <卸売業>

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額はわずかに増加に転じ、収益は前期同様の減少幅で推移した。価格面では販売価格はわずか に上昇が弱まり、仕入価格は前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位 2 位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位 2 位は「販路を広げ る」、「経費を節減する」の順となっている。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想している。売上額は増加傾向を強め、収益はわずかに改善すると見ている。

#### <小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は前期並の減少が続いたものの、収益はわずかに持ち直した。価格面では販売価格、仕入価 格ともに前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位 2 位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位 2 位は「経費を節減 する」、「品揃えを改善する」の順となっている。

来期の業況は今期並の厳しさが続くと予想している。売上額・収益も今期並の減少が続くと見ている。

#### <サービス業>

業況は前期同様の厳しさが続いたものの、売上額はやや増加傾向を強め、収益もわずかに改善した。価格面では料金価格・材料価格と もに前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位2位は「人手不足」、「売上の停滞・減少」の順となり、重点経営施策の上位2位は「経費を節減する」、「販路を 広げる」の順となっている。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くと見ており、売上額は今期並の水準が続き、収益は今期並の減少が続くと予想している。

#### <建設業>

業況はわずかに良好感が強まった。売上額・受注残・施工高は前期同様の増加が続き、収益はわずかに増加に転じた。価格面では請負 価格はわずかに上昇傾向を強め、材料価格は前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位 2 位は「材料価格の上昇」、「人手不足」の順となり、重点経営施策の上位 2 位は「経費を節減する」、「人材を確 保する」の順となっている。

来期の業況は今期並の良好感が続くと予想している。売上額・受注残・施工高は今期同様の増加が続き、収益は増減なく推移すると見 ている。

#### <不動産業>

業況は前期並の良好感が続いた。売上額と収益はわずかに増加傾向を強めた。価格面では販売価格・仕入価格ともに前期並の上昇が続 いている。

経営上の問題点の上位2位は「商品物件の高騰」、「商品物件の不足」の順となり、重点経営施策の上位2位は「情報力を強化する」、「販 路を広げる」の順となっている。

来期の業況はわずかに好調感が後退すると予想している。売上額・収益は増加傾向が一服すると見ている。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

○D. I. (Diffusion Indexの略)

(ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合 を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとする ものです

(季節調敷溶)  $\bigcirc$  D. I.

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I.を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I.値です。修正値ともい います。

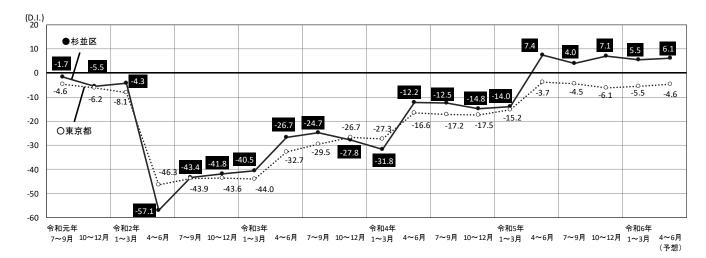
傾向値は、季節変動の大きな業種(例えば小売業)ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方向を見る方法です。

## 杉並区内中小企業の景況(令和6年1月~3月期)

業況判断 D. I. (季節調整済、「良い」企業割合ー「悪い」企業割合) は 5.5 と前期(令和 5 年 10~12 月) の 7.1 に比べ 1.6 ポイント悪化したが、前期並の好調感が続いた。業種別にみると、建設業は好調感が大きく強まり、製造業は好調感がやや強まったものの、不動産業は好調感が大きく後退した。小売業、サービス業はともに悪化に転じ、卸売業は低調感が大きく強まった。

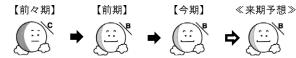
また、業況判断の要因として、中小企業基盤整備機構が発表した第 175 回中小企業景況調査によれば、全体における前期と比較した今期の業況は 3 期連続して低下した。各業種の原材料・商品仕入価格 DI (前年同期比) は売上単価に比べ高い水準が継続し高止まりの状況にあり、仕入価格高騰や人材費上昇など収益への影響を懸念する声が聞かれた。

来期(令和6年4~6月)は今期同様の好調感が続くと予想される。不動産業は今期同様で推移し、製造業、建設業はともに好調感がやや後退し、サービス業は好転すると予想される。卸売業は厳しさが大きく和らぎ、小売業は今期同様で推移する見通しである。



# 杉並区内各業種別業況の動きと来期の予測

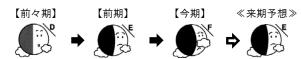
# 製 造 業



業況は好調感がやや強まった。売上額は増加幅が大きく拡大し、受注残は増加幅がやや縮小し、収益は増加傾向をやや強めた。販売価格、原材料価格はともに前期並となった。

来期の見通しについて、業況は好調感がやや後退すると予想される。売上額は増加幅が大きく縮小し、収益は増加から減少に転じると見込まれる。

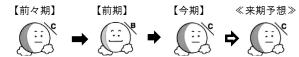
# 卸売業



業況は低調感が大きく強まった。売上額は前期並となり、収益は減少幅がやや拡大した。販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は前期並となった。在庫は過剰感がやや改善した。

来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぐと予想される。売上額は増加に転じ、収益は減少幅が大きく縮小すると見込まれる。

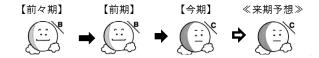
# 小 売 業



業況は悪化に転じた。売上額は前期並となり、収益は増加傾向をやや強めた。販売価格は上昇が大きく強まり、仕入価格は前期並となった。在庫は適正水準の範囲で推移した。

来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想される。売上額、収益はともに増加幅が大きく拡大すると見込まれる。

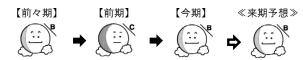
# サービス業



業況は悪化に転じた。売上額は増加幅が大きく拡大し、収益は増加傾向がやや一服した。料金価格は前期並となり、材料価格は上昇がやや弱まった。

来期の見通しについて、業況は好転すると予想される。売上額は増加幅が大きく縮小し、収益は今期同様で推移すると見込まれる。

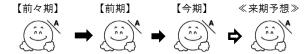
# 建設業



業況は好調感が大きく強まった。売上額、受注残、収益はいずれも増加幅がやや拡大した。請負価格、材料価格はともに上昇がやや強まった。

来期の見通しについて、業況は好調感がやや後退すると予想される。売上額、収益はともに増加幅がやや拡大すると見込まれる。

# 不動産業

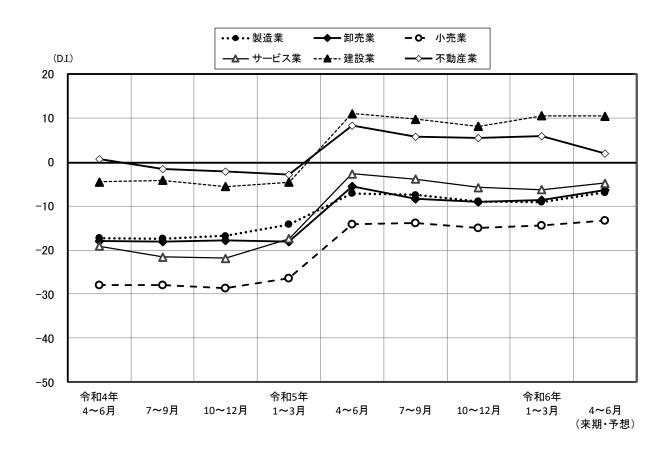


業況は好調感が大きく後退した。売上額は前期並となり、収益は増加傾向が大きく弱まった。販売価格、仕入価格はともに上昇が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想される。売上額、収益はともに増加幅が極端に拡 大すると見込まれる。

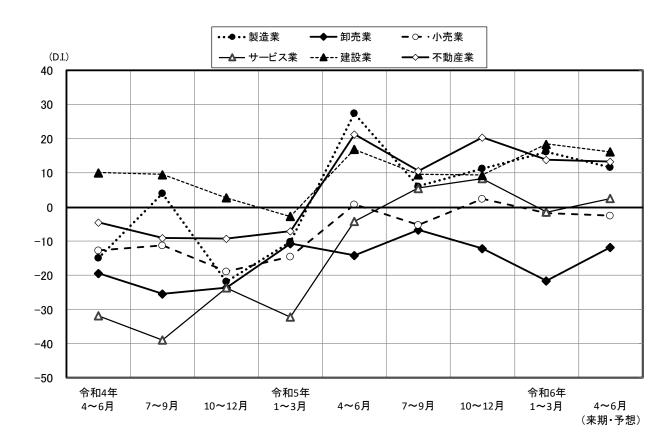
# 業種別業況の動き(実績)と来期の予測(東京都・杉並区の比較)

# 東京都



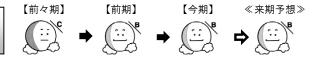
		令和4年 4~6月	7~9月	10~12月	令和5年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 (前期)	令和6年 1~3月 (今期)	増減	4~6月 (来期·予想)	今期と の比較
製 造	業	-17.3	-17.4	-16.8	-14.2	-7.1	-7.5	-9.0	-9.1	-0.1	-6.9	2.2
卸売	業	-17.9	-18.1	-17.8	-18.1	-5.5	-8.3	-9.1	-8.7	0.4	-6.4	2.3
小 売	業	-27.9	-28.0	-28.7	-26.4	-14.2	-13.9	-15.0	-14.4	0.6	-13.3	1.1
サービス	ス業	-19.1	-21.6	-21.9	-17.4	-2.7	-3.9	-5.8	-6.3	-0.5	-4.8	1.5
建設	業	-4.5	-4.2	-5.6	-4.6	11.0	9.7	8.1	10.5	2.4	10.4	-0.1
不動産	業	0.6	-1.6	-2.1	-2.9	8.2	5.7	5.5	5.9	0.4	1.9	-4.0
総	合	-16.6	-17.2	-17.5	-15.2	-3.7	-4.5	-6.1	-5.5	0.6	-4.6	0.9

# 杉並区



			令和4年 4~6月	7~9月	10~12月	令和5年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 (前期)	令和6年 1~3月 (今期)	増減	4~6月 (来期・予想)	今期と の比較
製	造	業	-14.9	4.0	-21.8	-10.2	27.5	6.1	11.3	16.2	4.9	11.7	-4.5
卸	売	業	-19.4	-25.3	-23.6	-10.7	-14.2	-6.6	-12.2	-21.6	-9.4	-11.7	9.9
小	売	業	-12.6	-11.2	-18.9	-14.4	0.8	-5.2	2.5	-1.8	-4.3	-2.4	-0.6
サ-	ービス	ス業	-31.8	-38.9	-23.6	-32.2	-4.2	5.6	8.4	-1.4	-9.8	2.6	4.0
建	設	業	10.1	9.6	2.8	-2.7	16.9	9.6	9.4	18.5	9.1	16.2	-2.3
不	動産	業	-4.4	-9.0	-9.2	-7.0	21.3	10.7	20.4	13.9	-6.5	13.4	-0.5
総		合	-12.2	-12.5	-14.8	-14.0	7.4	4.0	7.1	5.5	-1.6	6.1	0.6

# 製 造業



#### 業況

業況(6.1→11.3→16.2)は好調感がやや強まった。

#### 売上額・収益・受注残

売上額 (19.3 $\rightarrow$ 9.2 $\rightarrow$ 16.3) は増加幅が大きく拡大し、受注残 (20.8 $\rightarrow$ 18.3 $\rightarrow$ 12.5) は増加幅がやや縮小し、収益 (5.1 $\rightarrow$ 3.0 $\rightarrow$ 7.6) は増加傾向をやや強めた。

#### 価格 • 在庫動向

販売価格  $(47.3\rightarrow 44.1\rightarrow 43.0)$ 、原材料価格  $(66.9\rightarrow 54.1\rightarrow 55.0)$  はともに前期並となった。また、在庫  $(1.4\rightarrow 8.3\rightarrow 3.3)$  は過剰感がやや改善した。

#### 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\triangle$ 5.0→ $\triangle$ 1.6→9.2) は容易となり、借入難易度 (12.0→3.7→7.7) は容易さがやや増した。 設備投資を「実施した」企業 (25.9%→25.9%→25.9%) は前期並となった。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

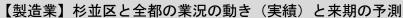
経営上の問題点は、「原材料高」(51.9%) が今期も最多となり、以下、「人手不足」(37.0%)、「売上の停滞・減少」(22.2%)、「仕入先からの値上げ要請」(18.5%)、「同業者間の競争の激化」(11.1%) の順となった。

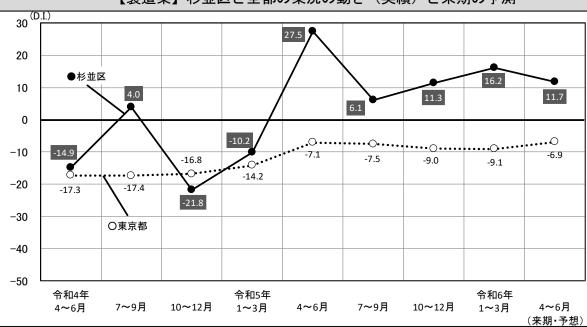
重点経営施策は、「販路を広げる」(63.0%)が今期も最多となり、以下、「人材を確保する」(37.0%)、「経費を節減する」(33.3%)、「新製品・技術を開発する」(14.8%)、「工場・機械を増設・移転する」(11.1%)の順となった。

#### 来期の見通し

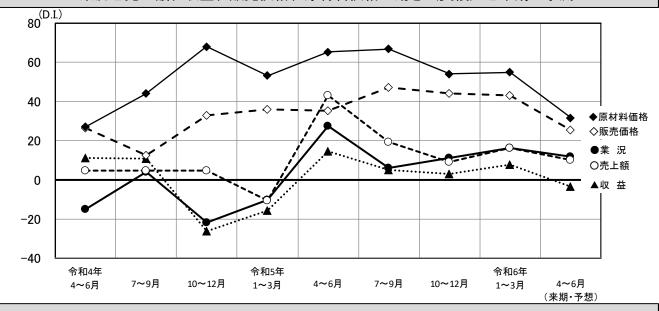
来期の見通しについて、業況(11.7 予想)は好調感がやや後退すると予想される。売上額(10.0 予想)は増加幅が大きく縮小し、受注残(13.4 予想)は今期同様で推移し、収益(10.0 予想)は増加から減少に転じると見込まれる。

価格面では、販売価格(25.5 予想)は上昇が大きく弱まり、原材料価格(31.7 予想)は上昇が極端に弱まる見通しである。

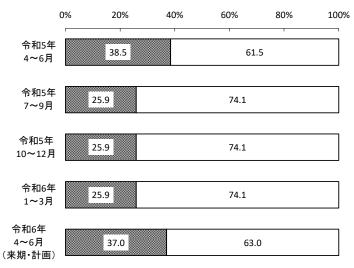




業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き(実績)と来期の予測



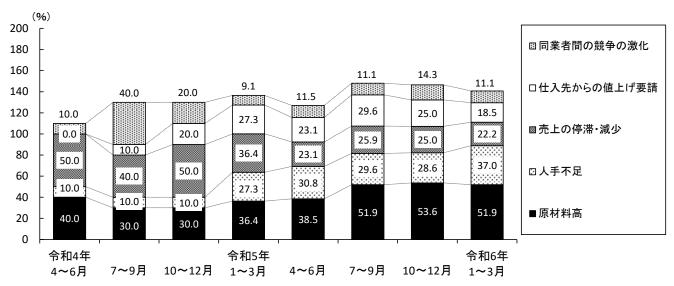
設 備 投 資 動 向



■実施した・予定あり □実施しない・予定なし

#### 経営上の問題点

(複数回答)



(注:今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

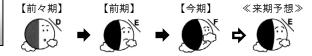
令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
原材料高	38.5 %	原材料高	51.9 %	原材料高	53.6 %	原材料高	51.9 %
人手不足	30.8 %	仕入先からの値上げ要請	29.6 %	人手不足	28.6 %	人手不足	37.0 %
		人手不足	29.0 %	仕入先からの値上げ要請	25.0 %	売上の停滞・減少	22.2 %
仕入先からの値上げ要請 利幅の縮小	23.1 %	売上の停滞・減少	25.9 %	売上の停滞・減少		仕入先からの値上げ要請	18.5 %
売上の停滞・減少		利幅の縮小	22.2 %	利幅の縮小	142 04	同業者間の競争の激化	11.1 %
		「小小田へくが日へ」、		同業者間の競争の激化	14.3 70	門木石町の成子の成化	11.1 70

#### 重 点 経 営 施 策 (複数回答) (%) 240 220 ■工場・機械を増設・移転する 200 10.0 30.0 9.1 180 10.0 10.0 7.7 7.4 11.1 □新製品・技術を開発する 14.3 160 0.0 10.0 18.2 18.5 50.0 23.1 140 21.4 14.8 60.0 25.9 ■経費を節減する 120 36.4 26.9 33.3 50.0 20.0 39.3 100 10.0 37.0 26.9 27.3 80 20.0 37.0 21.4 □人材を確保する 60 100.0 90.0 40 76.9 70.0 72.7 74.1 67.9 63.0 ■販路を広げる 20 0 令和4年 令和5年 令和6年 7~9月 10~12月 10~12月 4~6月 7~9月 4~6月 1~3月 1~3月

(注:今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和5年4~6月			令和5年7~9月			令和5年10~12月		令和6年1~3月	
販路を広げる	76.9 9	6	販路を広げる	74.1	%	販路を広げる	67.9 %	5 販路を広げる	63.0 %
人材を確保する	26.9 9	,	人材を確保する	37.0	%	経費を節減する	39.3 %	人材を確保する	37.0 %
経費を節減する	20.9 9	· % ──	経費を節減する	25.9	%	人材を確保する	21.4 %	経費を節減する	33.3 %
新製品・技術を開発する	23.1 9	6	情報力を強化する	22.2	%	新製品・技術を開発する	21.4 %	新製品・技術を開発する	14.8 %
提携先を見つける	15.4 9	6	新製品・技術を開発する	18.5	%	工場・機械を増設・移転する 情報力を強化する	14.3 9	5 工場・機械を増設・移転する	11.1 %

# 卸 売 業



#### 業況

業況 ( $\triangle$ 6.6→ $\triangle$ 12.2→ $\triangle$ 21.6) は低調感が大きく強まった。

#### 売上額 ・ 収益

売上額 (19.9 $\rightarrow$  $\triangle$ 3.5 $\rightarrow$  $\triangle$ 3.2) は前期並となり、収益 (1.6 $\rightarrow$  $\triangle$ 19.6 $\rightarrow$  $\triangle$ 22.3) は減少幅がやや拡大した。

#### 価格 • 在庫動向

販売価格  $(40.8\rightarrow 49.7\rightarrow 45.8)$  は上昇がやや弱まり、仕入価格  $(56.2\rightarrow 55.4\rightarrow 56.6)$  は前期並となった。また、在庫  $(17.0\rightarrow 6.2\rightarrow 2.2)$  は過剰感がやや改善した。

#### 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\triangle$ 23. 1→ $\triangle$ 15. 5→ $\triangle$ 11. 7) は窮屈感がやや緩和し、借入難易度 ( $\triangle$ 8. 7→ $\triangle$ 4. 4→0. 0) は厳しさがやや和らいだ。

設備投資を「実施した」企業(17.4%→25.0%→27.8%)は前期より2.8ポイント増となった。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(45.0%)が今期も最多となり、以下、「仕入先からの値上げ要請」(25.0%)、「人件費の増加」、「利幅の縮小」、「人手不足」(各20.0%)の順となった。

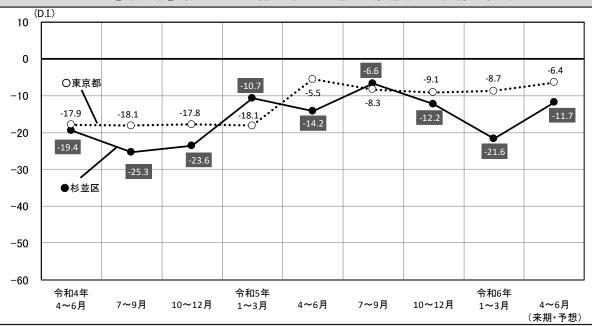
重点経営施策は、「販路を広げる」(50.0%)が今期も最多となり、以下、「情報力を強化する」、「経費を 節減する」(各35.0%)、「取引先を支援する」、「教育訓練を強化する」、「人材を確保する」(各15.0%)の 順となった。

#### 来期の見通し

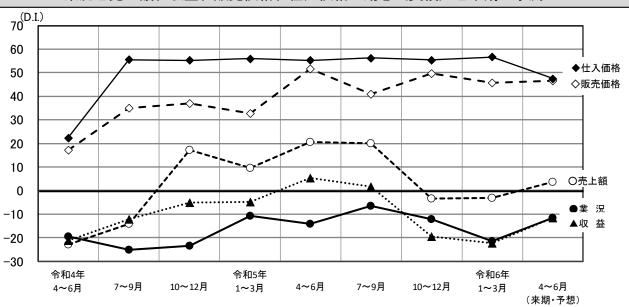
来期の見通しについて、業況( $\triangle$ 11.7予想)は厳しさが大きく和らぐと予想される。売上額(3.5予想)は増加に転じ、収益( $\triangle$ 11.5予想)は減少幅が大きく縮小すると見込まれる。

価格面では、販売価格(46.6予想)は今期同様で推移し、仕入価格(47.5予想)は上昇が大きく弱まる 見通しである。

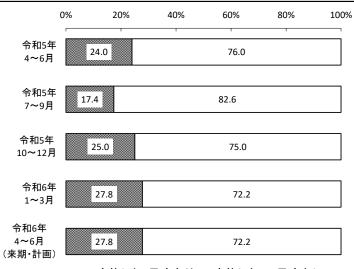
#### 【卸売業】杉並区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き(実績)と来期の予測







∞実施した・予定あり □実施しない・予定なし

#### (複数回答) 経営上の問題点 (%) 180 ⊞人手不足 160 28.0 140 11.1 30.4 20.0 □利幅の縮小 7.7 21.7 23.1 120 11.1 0.0 100 15.4 - 0.0 20.0 23.1 ■人件費の増加 40.0 44.4 34.8 80 30.4 20.0 30.8 8.0 □仕入先からの値上げ要請 15.4 **≅** 4.3 ₽ ≅ 4.3 ¤ 0.0 60 25.0 0.0 21.7 32.0 30.8 34.8 23.1 40 66.7 61.5 ■売上の停滞・減少 45.0 20 39.1 30.8 30.8 32.0 26.1 0 令和4年 令和5年 令和6年 7~9月 10~12月 7~9月 10~12月

(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

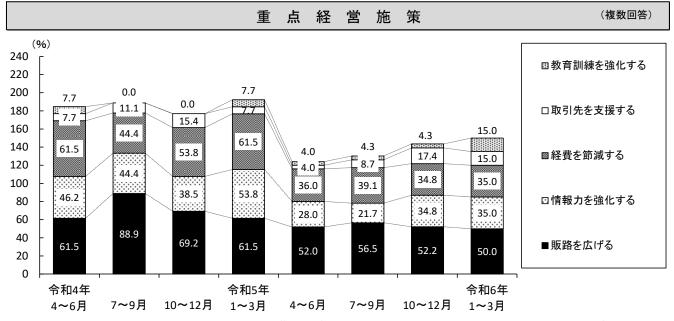
1~3月

令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月		
利幅の縮小	40.0 %	仕入先からの値上げ要請	34.8 %	売上の停滞・減少	39.1 %	売上の停滞・減少	45.0 %	
仕入先からの値上げ要請	32.0 %	利幅の縮小		利幅の縮小	30.4 %	仕入先からの値上げ要請	25.0 %	
売上の停滞・減少	32.0 %	同業者間の競争の激化	30.4 %	同業者間の競争の激化	26.1 %	人件費の増加		
同業者間の競争の激化	28.0 %	人手不足		仕入先からの値上げ要請	21.7 %	利幅の縮小	20.0 %	
人手不足	28.0 %	売上の停滞・減少	26.1 %	人手不足	21.7 %	人手不足		

4~6月

1~3月

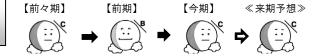
4~6月



(注:今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
販路を広げる	52.0 %	販路を広げる	56.5 %	販路を広げる	52.2 %	販路を広げる	50.0 %
経費を節減する	36.0 %	経費を節減する	39.1 %	情報力を強化する	34.8 %	情報力を強化する	35.0 %
人材を確保する	28.0 %	情報力を強化する	21.7 %	経費を節減する	34.0 %	経費を節減する	35.0 %
情報力を強化する	20.0 %	新しい事業を始める	17.4 %	取引先を支援する	17.4 %	取引先を支援する	
流通経路の見直しをする	12.0 %	流通経路の見直しをする	13.0 %	人材を確保する	8.7 %	教育訓練を強化する	15.0 %
新しい事業を始める	12.0 %		提携先を見つける	0.7 70	人材を確保する		

# 小 売 業



#### 業況

業況 ( $\triangle$ 5. 2→2. 5→ $\triangle$ 1. 8) は悪化に転じた。業種別でみると、「飲食店」(2. 0→36. 7→9. 3) は好調感が極端に後退し、「衣類、呉服、身の回り品」( $\triangle$ 55. 7→ $\triangle$ 42. 6→ $\triangle$ 42. 2)、「飲食料品」( $\triangle$ 9. 3→ $\triangle$ 8. 9→ $\triangle$ 9. 3) はともに前期並となった。

#### 売上額 ・ 収益

売上額(12.5→13.1→12.7)は前期並となり、収益(8.7→10.4→12.6)は増加傾向をやや強めた。

#### 価格 • 在庫動向

販売価格(47.5→29.4→40.2)は上昇が大きく強まり、仕入価格(47.1→50.4→50.1)は前期並となった。

また、在庫 ( $\triangle 5.6 \rightarrow 1.8 \rightarrow \triangle 2.0$ ) は適正水準の範囲で推移した。

#### 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\triangle$ 12.3→ $\triangle$ 11.2→ $\triangle$ 10.5) は前期並となり、借入難易度 ( $\triangle$ 6.9→ $\triangle$ 3.2→6.9) は容易となった。

設備投資を「実施した」企業(2.8%→7.9%→2.7%)は前期より5.2ポイント減となった。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」(32.4%) が今期も最多となり、以下、「仕入先からの値上げ要請」(24.3%)、「大型店との競争の激化」、「人手不足」(各 21.6%)、「人件費の増加」、「売上の停滞・減少」(各 16.2%)の順となった。

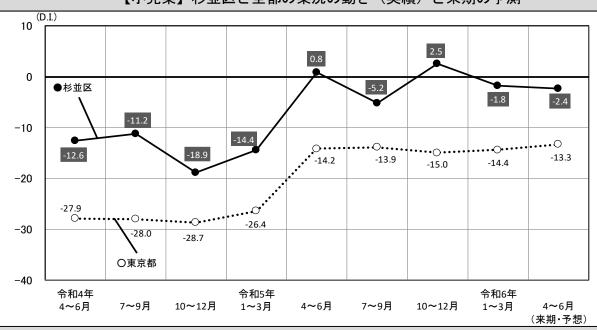
重点経営施策は、「経費を節減する」(37.8%)が今期も最多となり、以下、「宣伝・広告を強化する」(27.0%)、「人材を確保する」(18.9%)、「商店街事業を活性化させる」(16.2%)、「売れ筋商品を取り扱う」、「品揃えを改善する」、「仕入先を開拓・選別する」(各13.5%)の順となった。

#### 来期の見通し

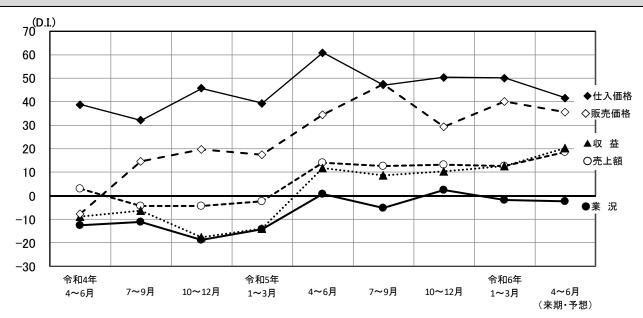
来期の見通しについて、業況 (△2.4予想) は今期同様で推移すると予想される。売上額 (18.7予想)、収益 (20.4予想) はともに増加幅が大きく拡大すると見込まれる。

価格面では、販売価格(35.7予想)は上昇がやや弱まり、仕入価格(41.6予想)は上昇が大きく弱まる 見通しである。

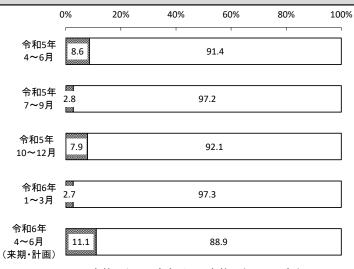
#### 【小売業】杉並区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き(実績)と来期の予測



設 備 投 資 動 向

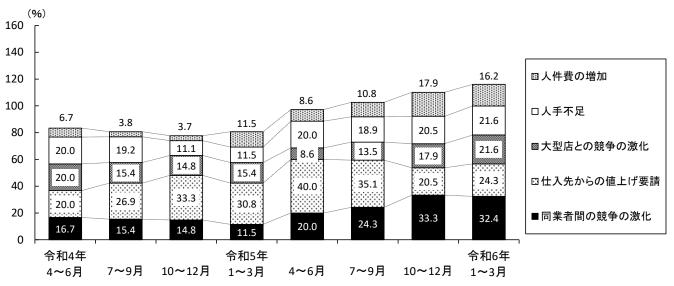


■実施した・予定あり □実施しない・予定なし

#### (複数回答)

(複数回答)

#### 経営上の問題点



(注:今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和5年4~6月			令和5年7~9月			令和5年10~12月		令和6年1~3月	
仕入先からの値上げ要請	40.0	%	仕入先からの値上げ要請	35.1	%	同業者間の競争の激化	33.3 %	同業者間の競争の激化	32.4 %
同業者間の競争の激化			同業者間の競争の激化	24.3	n/	売上の停滞・減少	23.1 %	仕入先からの値上げ要請	24.3 %
人手不足	20.0	%	売上の停滞・減少	24.3		仕入先からの値上げ要請	20.5 %	大型店との競争の激化	21.6 %
売上の停滞・減少			人手不足	18.9	%	人手不足	20.5 %	人手不足	21.0 %
利頼の綻小	17.1	%	天候の不順	16.2	0%	人件費の増加	17.9 %	人件費の増加	16.2 %
利幅の縮小	17.1		利幅の縮小	16.2 %		大型店との競争の激化		売上の停滞・減少	10.2 %

重

令和5年

1~3月

令和4年

4~6月

7~9月

10~12月

点

経

営

施

策

#### 160 (%) 140 ■売れ筋商品を取り扱う 17.9 120 16.2 13.5 10.0 口商店街事業を活性化さ 11.4 100 せる 3.8 14.8 16.2 15.4 16.2 16.7 3.8 80 7.7 17.1 ■人材を確保する 18.9 16.2 17.9 20.0 11.5 11.5 11.1 14.3 60 7.7 15.4 11.1 21.6 23.1 27.0 □宣伝・広告を強化する 23.3 20.0 15.4 7.4 40 46.2 ■経費を節減する 43.2 41.0 20 40.7 36.7 38.5 37.1 37.8 0

(注:今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

7~9月 10~12月

令和6年

1~3月

令和5年4~6月			令和5年7~9月		令和5年10~12月			令和6年1~3月	
経費を節減する	37.1 9	%	経費を節減する	43.2 %	経費を節減する	41.0	%	経費を節減する	37.8 %
宣伝・広告を強化する	20.0	%	仕入先を開拓・選別する	21.6 %	宣伝・広告を強化する	23.1	%	宣伝・広告を強化する	27.0 %
商店街事業を活性化させる	17.1 9	17.1 %	宣伝・広告を強化する	21.0 %	人材を確保する	17.9	0/	人材を確保する	18.9 %
仕入先を開拓・選別する	17.1 9	<b>70</b>			売れ筋商品を取り扱う	17.9	90	商店街事業を活性化させる	16.2 %
			人材を確保する 商店街事業を活性化させる	16.2 %				売れ筋商品を取り扱う	
人材を確保する	14.3 9	%	売れ筋商品を取り扱う		商店街事業を活性化させる 仕入先を開拓・選別する	15.4	%	品揃えを改善する	13.5 %
					12770CM11 22M17 0			仕入先を開拓・選別する	

4~6月

# 業種別動向

#### ●衣服・呉服・身の回り品●

業況 ( $\triangle$ 55.  $7 \rightarrow \triangle$ 42.  $6 \rightarrow \triangle$ 42. 2) は前期並となった。売上額 ( $\triangle$ 20.  $0 \rightarrow \triangle$ 22.  $8 \rightarrow \triangle$ 5. 9)、収益 ( $\triangle$ 18. 5  $\rightarrow \triangle$ 24.  $0 \rightarrow \triangle$ 5. 0) はともに減少幅が大きく縮小した。販売価格 (11.  $4 \rightarrow$ 16.  $4 \rightarrow$ 19. 2) は上昇がやや強まり、仕入価格 ( $\triangle$ 3.  $1 \rightarrow$ 3.  $3 \rightarrow$ 21. 6) は上昇が大きく強まった。

来期の見通しについて、業況 ( $\triangle$ 40.5予想) は今期同様で推移すると予想される。売上額 ( $\triangle$ 14.0予想)、収益 ( $\triangle$ 14.6予想) はともに減少幅が大きく拡大すると見込まれる。販売価格 (3.5予想) は上昇が大きく弱まり、仕入価格 (21.0予想) は今期同様で推移する見通しである。

#### ●飲食料品●

業況 ( $\triangle$ 9.  $3\rightarrow\triangle$ 8.  $9\rightarrow\triangle$ 9. 3) は前期並となった。売上額 (20.  $5\rightarrow$ 1.  $1\rightarrow$ 11. 3) は増加幅が大きく拡大し、収益 (16.  $4\rightarrow\triangle$ 15.  $7\rightarrow$ 2. 4) は増加に転じた。販売価格 (65.  $4\rightarrow$ 25.  $5\rightarrow$ 44. 2) は上昇が大きく強まり、仕入価格 (53.  $3\rightarrow$ 68.  $2\rightarrow$ 48. 6) は上昇が大きく弱まった。

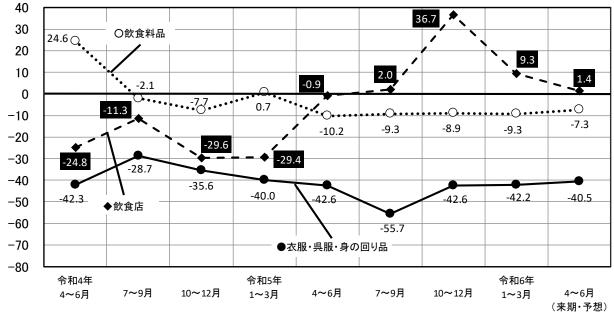
来期の見通しについて、業況(△7.3予想)は厳しさがやや和らぐと予想される。売上額(22.1予想)は増加幅が大きく拡大し、収益(23.1予想)は増加傾向を極端に強めると見込まれる。販売価格(42.2予想)は上昇がやや弱まり、仕入価格(47.9予想)は今期同様で推移する見通しである。

#### ●飲 食 店●

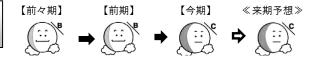
業況  $(2.0\rightarrow36.7\rightarrow9.3)$  は好調感が極端に後退した。売上額  $(\triangle2.6\rightarrow25.6\rightarrow19.0)$  は増加幅が大きく縮小し、収益  $(\triangle22.8\rightarrow23.5\rightarrow3.4)$  は増加幅が極端に縮小した。販売価格  $(43.9\rightarrow34.5\rightarrow40.0)$ 、仕入価格  $(62.2\rightarrow54.4\rightarrow56.9)$  はともに上昇がやや強まった。

来期の見通しについて、業況(1.4予想)は好調感が大きく後退すると予想される。売上額(32.0予想)、収益(12.9予想)はともに増加幅が大きく拡大すると見込まれる。販売価格(40.0予想)は今期同様で推移し、仕入価格(32.6予想)は上昇が極端に弱まる見通しである。

# 【小売業】中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測 (D.I.) (



# サービス業



#### 業況

業況  $(5.6\rightarrow 8.4\rightarrow \triangle 1.4)$  は悪化に転じた。業種別でみると、「洗濯、理容、美容業」  $(\triangle 3.3\rightarrow \triangle 27.8\rightarrow \triangle 9.6)$  は厳しさが大きく和らぎ、「自動車整備業、駐車場業」  $(\triangle 50.9\rightarrow 13.0\rightarrow \triangle 30.8)$  は悪化に転じた。

#### 売上額 ・ 収益

売上額 (21.5→11.0→18.3) は増加幅が大きく拡大し、収益 (17.4→6.7→2.1) は増加傾向がやや一服した。

#### 料金•材料価格動向

料金価格 (14.1 $\rightarrow$ 14.3 $\rightarrow$ 16.1) は前期並となり、材料価格 (42.4 $\rightarrow$ 39.9 $\rightarrow$ 37.1) は上昇がやや弱まった。

#### 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り (3.5→ $\triangle$ 10.1→ $\triangle$ 1.8) は窮屈感が大きく緩和し、借入難易度 ( $\triangle$ 5.2→ $\triangle$ 5.3→ $\triangle$ 2.9) は厳しさがやや和らいだ。

設備投資を「実施した」企業(24.4%→15.6%→19.6%)は前期より4.0ポイント増となった。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」、「人手不足」(各31.9%)が最多となり、「同業者間の競争の激化」(25.5%)、「人件費の増加」(14.9%)、「売上の停滞・減少」(10.6%)の順となった。

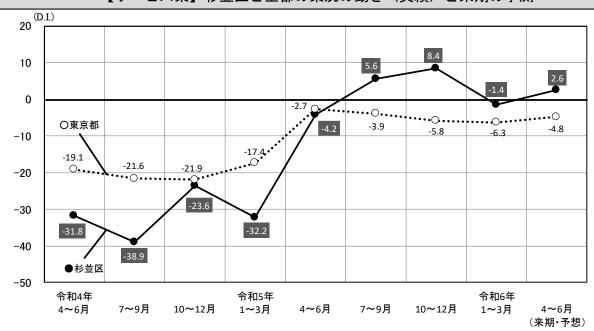
重点経営施策は、「販路を広げる」(38.3%)が今期も最多となり、以下、「人材を確保する」(34.0%)、「経費を節減する」(31.9%)、「宣伝・広告を強化する」(14.9%)、「労働条件を改善する」、「教育訓練を強化する」(各12.8%)の順となった。

#### 来期の見通し

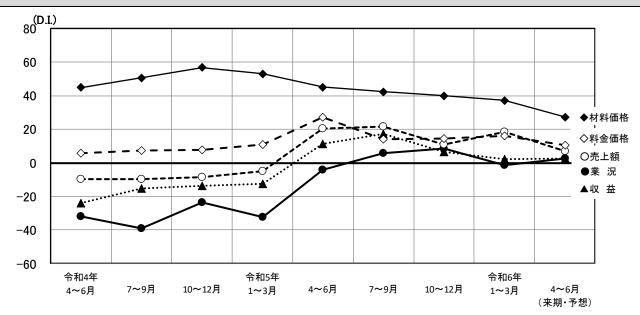
来期の見通しについて、業況(2.6予想)は好転すると予想される。売上額(7.0予想)は増加幅が大きく縮小し、収益(2.6予想)は今期同様で推移すると見込まれる。

価格面では、料金価格(10.5予想)は上昇がやや弱まり、材料価格(27.3予想)は上昇が大きく弱まる 見通しである。

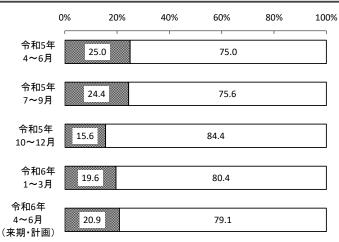
#### 【サービス業】杉並区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き(実績)と来期の予測



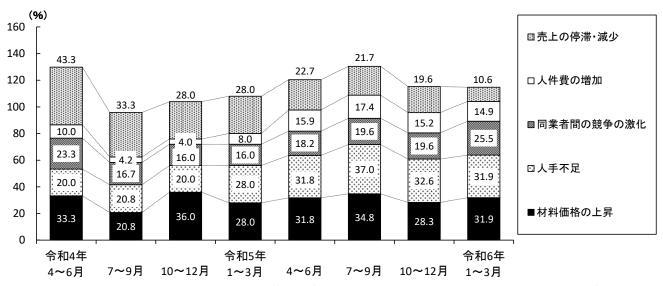
#### 設 備 投 資 動 向



■実施した・予定あり □実施しない・予定なし

#### 経営上の問題点

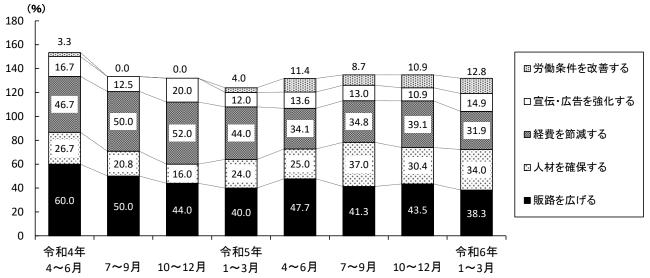
(複数回答)



(注: 今期の上位 5 項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位 5 項目となっていない場合があります。)

令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
材料価格の上昇	31.8 %	人手不足	37.0 %	人手不足	32.6 %	材料価格の上昇	31.9 %
人手不足	31.0 %	材料価格の上昇	34.8 %	材料価格の上昇	28.3 %	人手不足	31.9 %
売上の停滞・減少	22.7 %	売上の停滞・減少	21.7 %	同業者間の競争の激化	19.6 %	同業者間の競争の激化	25.5 %
同業者間の競争の激化	18.2 %	同業者間の競争の激化	19.6 %	売上の停滞・減少	19.0 %	人件費の増加	14.9 %
人件費の増加	15.9 %	人件費の増加	17.4 %	人件費の増加	15.2 %	売上の停滞・減少	10.6 %

#### 重点経営施策 (複数回答)



令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
販路を広げる	47.7 %	販路を広げる	41.3 %	販路を広げる	43.5 %	販路を広げる	38.3 %
経費を節減する	34.1 %	人材を確保する	37.0 %	経費を節減する	39.1 %	人材を確保する	34.0 %
人材を確保する	25.0 %	経費を節減する	34.8 %	人材を確保する	30.4 %	経費を節減する	31.9 %
宣伝・広告を強化する	13.6 %	宣伝・広告を強化する	13.0 %			宣伝・広告を強化する	14.9 %
**************************************	11.4.0/	担催生を目のはる		労働条件を改善する 宣伝・広告を強化する	10.9 %	労働条件を改善する	10.0.0/
労働条件を改善する	11.4 %	提携先を見つける	10.9 %	EM MICHIOTO		教育訓練を強化する	12.8 %

# 業種別動向

#### ●洗濯、理容、美容業●

業況 ( $\triangle$ 3.3 $\rightarrow$  $\triangle$ 27.8 $\rightarrow$  $\triangle$ 9.6) は厳しさが大きく和らいだ。売上額 ( $\triangle$ 7.3 $\rightarrow$  $\triangle$ 21.2 $\rightarrow$  $\triangle$ 8.7)、収益 ( $\triangle$ 6.3 $\rightarrow$  $\triangle$ 23.7 $\rightarrow$  $\triangle$ 14.2) はともに減少幅が大きく縮小した。料金価格 (9.3 $\rightarrow$ 1.7 $\rightarrow$ 6.9)、材料価格 (33.3 $\rightarrow$ 7.4 $\rightarrow$ 9.8) はともに上昇がやや強まった。

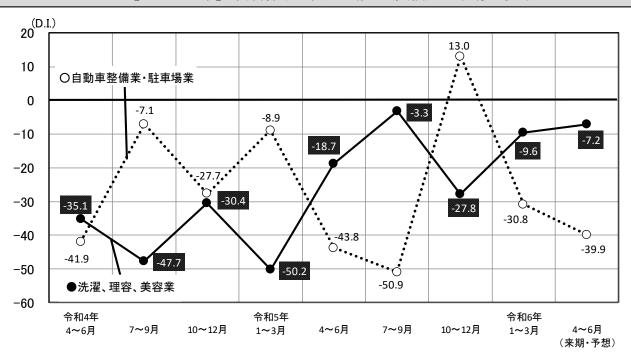
来期の見通しについて、業況( $\triangle$ 7.2予想)は厳しさがやや和らぐと予想される。売上額( $\triangle$ 10.5予想)は今期同様で推移し、収益( $\triangle$ 11.8予想)は減少幅がやや縮小すると見込まれる。料金価格(9.9予想)は上昇がやや強まり、材料価格(9.8予想)は今期同様で推移する見通しである。

#### ●自動車整備業・駐車場業●

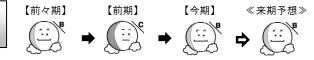
業況 ( $\triangle$ 50.9 $\rightarrow$ 13.0 $\rightarrow$  $\triangle$ 30.8) は悪化に転じた。売上額 (3.6 $\rightarrow$  $\triangle$ 17.4 $\rightarrow$ 13.6)、収益 (1.4 $\rightarrow$  $\triangle$ 6.3 $\rightarrow$ 1.4) はともに増加に転じた。料金価格 (25.0 $\rightarrow$ 37.7 $\rightarrow$ 54.7) は上昇が大きく強まり、材料価格 (43.5 $\rightarrow$ 88.3 $\rightarrow$ 94.2) は上昇がやや強まった。

来期の見通しについて、業況 ( $\triangle$ 39.9予想) は低調感が大きく強まると予想される。売上額 (2.6予想) は増加幅が大きく縮小し、収益 ( $\triangle$ 9.0予想) は増加から減少に転じると見込まれる。料金価格 (42.4予想) は上昇が大きく弱まり、材料価格 (55.6予想) は上昇が極端に弱まる見通しである。

#### 【サービス業】中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



# 建設業



#### 業況

業況 (9.6→9.4→18.5) は好調感が大きく強まった。

#### 売上額・収益・受注残

売上額 (16.8 $\rightarrow$ 12.7 $\rightarrow$ 16.3)、受注残 (17.7 $\rightarrow$ 14.1 $\rightarrow$ 16.5)、収益 (12.5 $\rightarrow$ 3.7 $\rightarrow$ 9.0) はいずれも増加幅 がやや拡大した。

#### 請負 · 材料価格動向

請負価格  $(27.7\rightarrow 26.6\rightarrow 28.7)$ 、材料価格  $(75.0\rightarrow 50.5\rightarrow 56.2)$  はともに上昇がやや強まった。

#### 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\triangle$ 10.3→ $\triangle$ 7.3→ $\triangle$ 4.4) は窮屈感がやや緩和し、借入難易度 ( $\triangle$ 2.2→2.1→0.0) は容易さがやや縮小した。

設備投資を「実施した」企業(21.7%→25.0%→26.7%)は前期より1.7ポイント増となった。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「人手不足」(49.0%)が最多となり、以下、「材料価格の上昇」(40.8%)、「人件費の増加」、「同業者間の競争の激化」(各 18.4%)、「下請の確保難」(16.3%)の順となった。

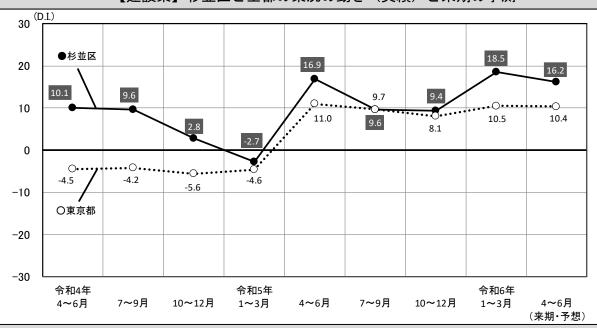
重点経営施策は、「販路を広げる」(55.1%) が今期も最多となり、以下、「人材を確保する」(40.8%)、「経費を節減する」(26.5%)、「技術力を高める」(18.4%)、「情報力を強化する」(10.2%)の順となった。

#### 来期の見通し

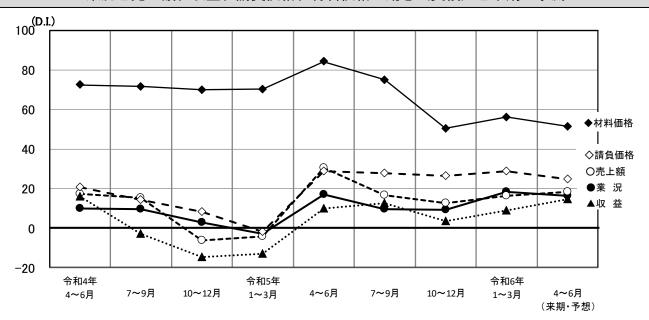
来期の見通しについて、業況(16.2予想)は好調感がやや後退すると予想される。売上額(18.3予想)、収益(14.6予想)はともに増加幅がやや拡大すると見込まれる。

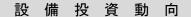
価格面では、請負価格(24.7予想)、材料価格(51.4予想)はともに上昇がやや弱まる見通しである。

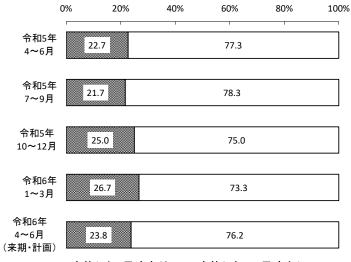
#### 【建設業】杉並区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き(実績)と来期の予測







■実施した・予定あり □実施しない・予定なし

#### 経営上の問題点 (複数回答) (%) 180 160 16.0 25.0 16.3 17.4 ■下請の確保難 8.9 12.2 140 13.0 6.7 8.9 11.5 18.0 120 13.0 18.4 □同業者間の競争の激化 12.5 14.3 12.0 17.4 8.7 8.3 19.2 100 16.3 18.4 **4.3 ₽** 7.7 ■人件費の増加 80 64.4 58.0 54.2 65.2 40.8 52.2 55.1 60 50.0 □材料価格の上昇 40 49.0 46.7 43.5 45.8 46.0 ■人手不足 20 39.1 36.7 34.6 0 令和4年 令和5年 令和6年

(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

10~12月

1~3月

7~9月

令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
材料価格の上昇	64.4 %	材料価格の上昇	55.1 %	材料価格の上昇	58.0 %	人手不足	49.0 %
人手不足	46.7 %	人手不足	36.7 %	人手不足	46.0 %	材料価格の上昇	40.8 %
利幅の縮小	17.8 %	売上の停滞・減少	20.4 %	同業者間の競争の激化	18.0 %	人件費の増加	18.4 %
売上の停滞・減少	17.8 %		同業者間の競争の激化	18.4 %			
人件費の増加	8.9 %	利幅の縮小	142 04	売上の停滞・減少	140 06	下きの吹促業	16.3 %
下請の確保難		同業者間の競争の激化	14.3 %	売上の停滞・減少 14.0 % 下請の確保難		「前の作法性	10.3 %

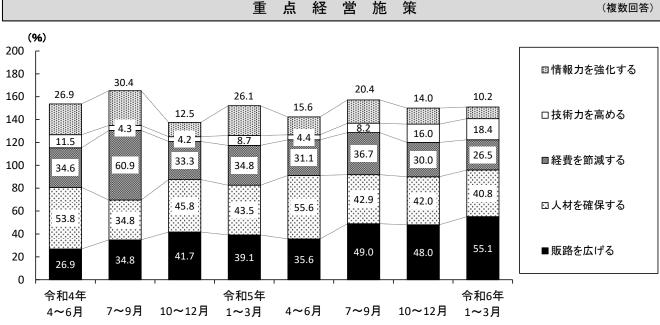
4~6月

4~6月

7~9月

10~12月

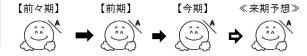
1~3月



(注:今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
人材を確保する	55.6 %	販路を広げる	49.0 %	販路を広げる	48.0 %	販路を広げる	55.1 %
販路を広げる	35.6 %	人材を確保する	42.9 %	人材を確保する	42.0 %	人材を確保する	40.8 %
経費を節減する	31.1 %	経費を節減する	36.7 %	経費を節減する	30.0 %	経費を節減する	26.5 %
情報力を強化する	15.6 %	情報力を強化する	20.4 %	技術力を高める	16.0 %	技術力を高める	18.4 %
教育訓練を強化する	13.3 %	技術力を高める	8.2 %	情報力を強化する	14.0 %	情報力を強化する	10.2 %

# 不 動 産 業



#### 業況

業況 (10.7→20.4→13.9) は好調感が大きく後退した。

#### 売上額 ・ 収益

売上額  $(11.6\rightarrow 6.2\rightarrow 8.1)$  は前期並となり、収益  $(21.9\rightarrow 14.4\rightarrow 3.5)$  は増加傾向が大きく弱まった。

#### 価格 • 在庫動向

販売価格(38.8→17.3→25.8)、仕入価格(55.5→40.1→48.2) はともに上昇が大きく強まった。

#### 資金繰り・借入難易度

資金繰り (21.9→15.3→17.6) は容易さがやや増し、借入難易度 (4.1→12.0→8.3) は容易さがやや縮小した。

#### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「商品物件の不足」(48.0%)が最多となり、以下、「商品物件の高騰」(40.0%)、「同業者間の競争の激化」(36.0%)、「売上の停滞・減少」(16.0%)、「人件費以外の経費の増加」、「大手企業との競争の激化」、「利幅の縮小」(各12.0%)の順となった。

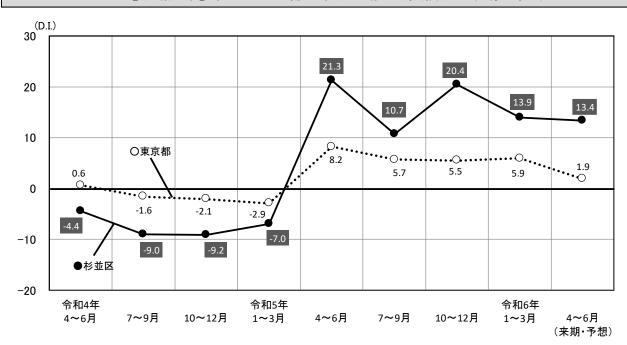
重点経営施策は、「情報力を強化する」(56.0%) が今期も最多となり、以下、「販路を広げる」(28.0%)、「経費を節減する」(24.0%)、「不動産の有効活用を図る」、「宣伝・広告を強化する」(各 16.0%)の順となった。

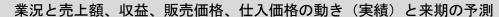
#### 来期の見通し

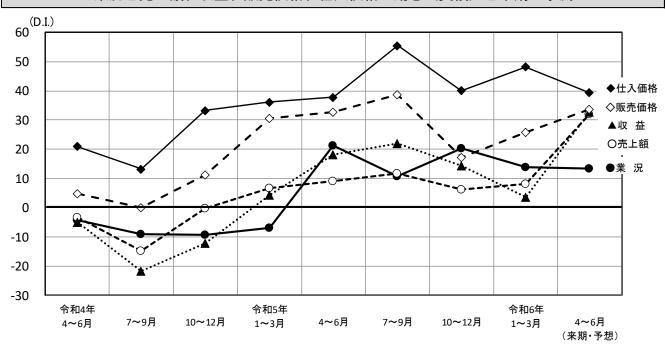
来期の見通しについて、業況(13.4予想)は今期同様で推移すると予想される。売上額(32.0予想)、収益(32.7予想)はともに増加幅が極端に拡大すると見込まれる。

価格面では、販売価格(33.8予想)は上昇が大きく強まり、仕入価格(39.4予想)は上昇が大きく弱まる見通しである。

#### 【不動産業】杉並区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測

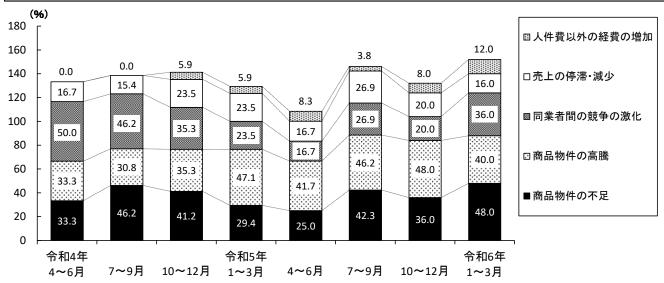






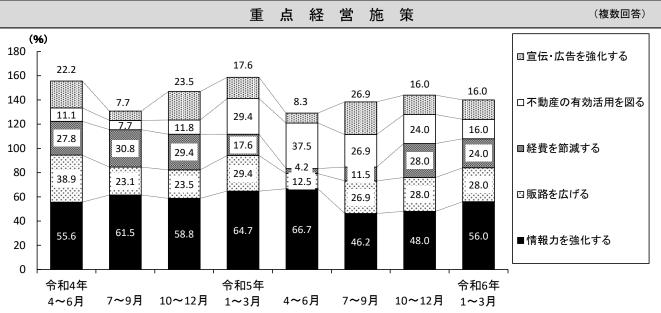
#### 経営上の問題点

(複数回答)



(注:今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
商品物件の高騰	41.7 %	商品物件の高騰	46.2 %	商品物件の高騰	48.0 %	商品物件の不足	48.0 %
商品物件の不足	25.0 %	商品物件の不足	42.3 %	商品物件の不足	36.0 %	商品物件の高騰	40.0 %
大手企業との競争の激化	20.8 %	同業者間の競争の激化	26.9 %	大手企業との競争の激化	24.0 %	同業者間の競争の激化	36.0 %
		売上の停滞・減少	26.9 %			売上の停滞・減少	16.0 %
同業者間の競争の激化	16.7 %			同業者間の競争の激化	20.0 %	人件費以外の経費の増加	
売上の停滞・減少	10.7 %	利幅の縮小 大手企業との競争の激化	15.4 %	人手不足 売上の停滞・減少	20.0 %	大手企業との競争の激化	12.0 %
		ハーエネージルデジル 1				利幅の縮小	



(注:今期の上位 5 項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位 5 項目となっていない場合があります。)

令和5年4~6月		令和5年7~9月		令和5年10~12月		令和6年1~3月	
情報力を強化する	66.7 %	情報力を強化する	46.2 %	情報力を強化する	48.0 %	情報力を強化する	56.0 %
不動産の有効活用を図る	37.5 %	不動産の有効活用を図る		経費を節減する	28.0 %	販路を広げる	28.0 %
人材を確保する	12.5 %	宣伝・広告を強化する	26.9 %	販路を広げる		経費を節減する	24.0 %
販路を広げる	12.5 %	販路を広げる		不動産の有効活用を図る	24.0 %		
労働条件を改善する 宣伝・広告を強化する 新しい事業を始める 教育訓練を強化する	8.3 %	人材を確保する	15.4 %	宣伝・広告を強化する		不動産の有効活用を図る 宣伝・広告を強化する	16.0 %

#### 経営者の声

#### 製造業

・バイオ、農業、環境分析機器の設計・製造・販売事業を営んでいる。原油価格・物価高騰により自社設計の分析機器の材料仕入価格が高騰したため価格転嫁したところ、ユーザーとなる国公立大学や研究機関の納入予算と合わず、買い控えの傾向が続き売上減少となっている。

(分析機器設計・製造・販売)

・Tシャツやタオル等の布地にプリントする印刷業を営んでいる。物価高騰で材料仕入費上昇による値上げ、販売機会であるイベントの減少、消費者の節約志向などにより売上が減少した。 (Tシャツ・タオル等プリント印刷業)

## 卸売業

- ・教材や教具を販売する会社である。授業などで使 う教材や教具を区内の小中学校や福祉施設、幼稚 園や保育園に販売している。近年の物価高騰でこ れら教材や教具も値上がりしたが、予算に縛りが ある学校の買い控えや、より廉価なネット購買に 変更することなどが起き、売上が減少している。 (教材・教具販売業)
- ・ゴルフ関連用品の卸売・小売業を営んでいる。主に米国から輸入するゴルフ用品の販売代理店であるため、昨今の輸入運送料の高騰や円安の継続の影響で商品価格が高騰し、価格転嫁のため値上げしたところ卸売先への販売が大幅に落ち込み、売上、利益が減少している。卸売先の流通も低調で、市場全体に買い控えが発生しており、今後も継続の恐れがある。

(ゴルフ関連用品卸売・小売業)

# 小売業

・食品(総菜)の小売業を営んでいる。最近の原油価格や物価高騰により、輸送費や資材費が値上がりしている。利益率確保のため販売価格を引き上げたところ、顧客も購入を控えるようになり売上が減少している。

(食品(総菜)小売業)

・飲食店 5 店舗を運営している。コロナ禍での厳 しい外部環境も改善され、回復軌道に乗って、 人件費などの資金需要が発生している。

(飲食店)

#### サービス業

・フィットネススタジオを経営している。今度 2 店舗目を出店する予定で、準備を進めている。 新店舗は、健康増進やフィットネス目的の若者 や中高年などライト層をターゲットに、フィッ トネスなどのメニューを展開予定である。

(フィットネススタジオ)

・犬・猫を中心に、診療のほかトリミングやペットホテルなどのサービスも含めて営業している。 最近の薬剤等の価格高騰に伴う診察料値上げにより来院数が減少し、売上が減少している。軽症の場合は来院を控える傾向が強まっている。

(動物病院)

#### 建設業

・主にアミューズメント施設(カラオケボックス等)や飲食店などの内装工事を手掛けている。 最近の原材料価格高騰等による価格転嫁を行ったため売上が減少している。中長期的なコスト削減が不可欠となっている。

(内装工事業)

・建設設計・監査業を営んでいる。原油価格・物 価高騰により、通常より大幅に工事請負契約の 調整が長引くなど新築住宅の供給に遅れが生じ、 企画・設計から完成までに以前より時間を要し ている。設計業務期間が長引き、報酬の回収に 時間を要しているため設計業務依頼が減少し、 売上が減っている。

(建設設計・監査業)

## 不動産業

・売買を中心とした不動産業を経営している。不 動産市況が回復し、不動産取引に関する需要が 増えている。それに伴い資金確保の必要性が生 じている。

(不動産業)

・マンションを保有し、賃貸業を営んでいる。物件は学生を対象にしたワンルームマンションであるが、物価高の影響で実家からの仕送りが減り、ここ数ヶ月で地方の学生2名が退去した。その後も空室が埋まらず売上が減少している。 (不動産賃貸業)

#### 日 銀 短 観

#### [調査対象企業数]

(2024年3月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,794社	5,324社	9,118社	99.0%
うち大企業	917社	817社	1,734社	99.1%
中堅企業	1,062社	1,532社	2,594社	98.8%
中小企業	1,815社	2,975社	4,790社	99.1%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

	(多 57 Fixer in this course of the course of									
		2023年	度		2024年度					
			上期	下期		上期	下期			
円/	2023年12月調査	139.38	138.75	140.00	_	-	l			
ドル	2024年3月調査	140.36	139.04	141.68	141.42	141.60	141.25			
円/	2023年12月調査	148.85	148.63	149.07	_	_	_			
ューロ	2024年3月調査	150.24	148.90	151.57	151.86	151.99	151.73			

#### [業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2023年1	2月調査		2024年3	3月調査						
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅					
大企業											
製 造 業	13	8	11	-2	10	-1					
非製造業	32	27	34	2	27	-7					
全 産 業	22	17	22	0	19	-3					
中堅企業	中堅企業										
製 造 業	6	5	6	0	5	-1					
非製造業	19	15	20	1	15	-5					
全 産 業	14	11	14	0	11	-3					
中小企業											
製 造 業	2	0	-1	-3	0	1					
非製造業	14	7	13	-1	8	-5					
全 産 業	9	5	7	-2	5	-2					
全規模合計											
製 造 業	5	3	4	-1	4	0					
非製造業	18	12	18	0	13	-5					
全 産 業	13	8	12	-1	9	-3					

#### [売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2023年度	Ę	2024年度	Ę
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
	製造業	3.4	-0.5	8.0	_
	国内	4.0	-0.7	0.7	_
大企業	輸出	2.3	-0.1	1.0	_
	非製造業	1.5	0.3	1.0	_
	全産業	2.3	0.0	0.9	_
	製造業	1.9	-0.3	1.9	_
中堅企業	非製造業	3.7	0.7	1.8	_
	全産業	3.2	0.4	1.8	_
	製造業	2.1	-0.1	1.5	_
中小企業	非製造業	3.1	0.7	0.1	_
	全産業	2.9	0.5	0.4	_
	製造業	2.9	-0.4	1.2	_
全規模合計	非製造業	2.6	0.5	0.9	_
	全産業	2.7	0.2	1.0	_

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

#### [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

						( 2011	1 ファ)			
		2023年1	2月調査		2024年3月調査					
中小企	業	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅			
	製造業	-20	-20	-20	0	-18	2			
国内での製商品・ サービス需給判断	うち素材業種	-23	-22	-24	-1	-23	1			
(「需要超過」一 「供給超過」)	加工業種	-18	-17	-17	1	-15	2			
	非製造業	-10	-11	-9	1	-9	0			
海外での製商品	製造業	-17	-16	-17	0	-14	3			
需給判断 (「需要超過」一	うち素材業種	-23	-22	-23	0	-20	3			
「供給超過」)	加工業種	-13	-13	-13	0	-11	2			
制充口左床	製造業	17		18	1					
製商品在庫 水準判断	うち素材業種	16		19	3					
(「過大」ー「不足」)	加工業種	18		18	0		/			
製商品流通在庫	製造業	16		16	0					
水準判断	うち素材業種	18		21	3		/			
(「過大」-「不足」)	加工業種	15		14	-1					
	製造業	27	28	26	-1	33	7			
販売価格判断	うち素材業種	26	27	27	1	34	7			
(「上昇」-「下落」)	加工業種	27	28	25	-2	33	8			
	非製造業	24	29	26	2	32	6			
	製造業	57	54	56	-1	59	3			
仕入価格判断	うち素材業種	52	49	51	-1	55	4			
(「上昇」-「下落」)	加工業種	61	58	59	-2	61	2			
	非製造業	54	55	53	-1	56	3			

#### 杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向

出典:(株)東京商工リサーチ調べ

#### 1. 企業倒産動向

#### [倒産概況]

(負債総額単位:百万円)(対比率は伸び率)

								_				、大学は一下・ログリン	(7,320   10.11 0   7
									令和5年	令和5年	令和6年		
									1~3月	10~12月	1~3月	前期比	前年同期比
杉		並		区	件			数	1	10	8	-20.0%	700.0%
12		711/		⋍	負	債	総	額	10	695	312	-55.1%	3020.0%
東	京	都	全	<i>I</i> +	件			数	339	451	416	-7.8%	22.7%
果	水	(IE)	±	14	<u>''</u> 負	債	総	額	103,108	250,107	82,831	-66.9%	-19.7%

#### [業種別倒産概況]

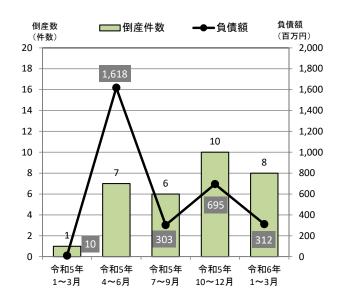
(単位:件)(対比率は伸び率)

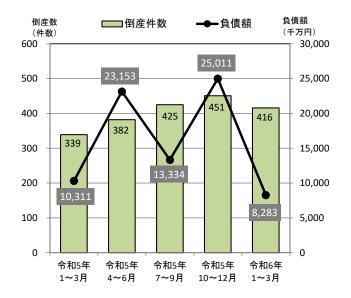
(羊位, 什) (対比率は仲び率											
						令和5年	令和5年	令和6年			
						1~3月	10~12月	1~3月	前期比	前年同期比	
			製	造	業	0	1	0	-100.0%	-	
			卸	売	業	0	1	0	-100.0%	-	
			小	売	業	0	1	0	-100.0%	-	
			サ	<b>ー</b> ビ	ス 業	0	4	4	0.0%	-	
à	<del>1/.</del>		建	設	業	0	0	2	I	-	
n n	11/	Ľ	不	動	産 業	0	0	0	I	-	
			情	報通信業	・運 輸業	1	1	1	0.0%	0.0%	
			宿	泊業,飲食	サービス業	0	2	1	-50.0%	-	
			そ	の	他	0	0	0	I	-	
			合		Ē	1	10	8	-20.0%	700.0%	
			製	造	業	23	28	20	-28.6%	-13.0%	
			卸	売	業	43	59	63	6.8%	46.5%	
			\ <b>J</b> \	売	業	29	43	45	4.7%	55.2%	
			サ	<b>-</b> ビ	ス 業	89	115	99	-13.9%	11.2%	
÷ *	<b>⊭</b> 17	△ <i>I</i> -	建	設	業	38	41	49	19.5%	28.9%	
尔 1	31)	± 1	不	動	産 業	16	16	30	87.5%	87.5%	
			情	報通信業	・運 輸業	51	69	47	-31.9%	-7.8%	
			宿	泊業,飲食	サービス業	29	52	32	-38.5%	10.3%	
			そ	の	他	21	28	31	10.7%	47.6%	
			合		計	339	451	416	-7.8%	22.7%	
	3	並	並[	製卸小サ建不情宿を 製卸小サ建不情宿を	東京 都 全 体	を	中の元の   中の元の	中の元の	令和5年 1~3月     令和6年 10~12月     令和6年 1~3月       型     造     業     0     1     0       卸     売     業     0     1     0       小     売     業     0     1     0       小     売     業     0     4     4       建     設     業     0     0     2       不     動     産     2     1       そ     の     他     0     0     0       合     計     1     10     8       要     2     1     1     10     8       要     2     1     1     1     1     1     1     8       要     2     3     28     20     20     2     3     28     20       日     売     業     43     59     63     45     45     45       サ     一     ビ     ス     89     115     99     47       電     設     業     38     41     49       不     動     産     16     30     16     30       情報     通     16     30     16     30     16     30     16     30     16     3	京 都 全 体     令和5年 10~12月 1~3月 前期比       変	

#### [倒産件数と負債額の推移]

≪杉並区≫

≪東京都全体≫





#### 2. 休廃業・解散動向

#### [休廃業・解散概況]

					(件数)	(構成比)	(件数)	(構成比)	(件数)	(構成比)		_
					令和5年		令和5年		令和6年		(伸び率)	
					1~	1~3月		10~12月		3月	前期比	前年同期比
杉		並		区	67 1.9%		87	2.4%	97	97 2.2%		44.8%
東	京	都	全	体	3,617	100.0%	3,666	100.0%	4,362	100.0%	19.0%	20.6%

#### [業種別休廃業·解散概況]

			(件数)	(構成比)	(件数)	(構成比)	(件数)	(構成比)		
			令和	15年	令和	5年	令和6年		(伸て	(率)
			1~	3月	10~	10~12月		3月	前期比	前年同期比
	製 造	業	3	4.5%	7	8.0%	5	5.2%	-28.6%	66.7%
	卸 売	業	5	7.5%	6	6.9%	8	8.2%	33.3%	60.0%
	小 売	業	9	13.4%	14	16.1%	11	11.3%	-21.4%	22.2%
1,	サービ	ス 業	23	34.3%	26	29.9%	36	37.1%	38.5%	56.5%
杉並	建設	業	4	6.0%	7	8.0%	9	9.3%	28.6%	125.0%
並区	不 動	産 業	9	13.4%	10	11.5%	10	10.3%	0.0%	11.1%
	情報通信業	•運輸業	9	13.4%	9	10.3%	14	14.4%	55.6%	55.6%
	宿泊業,飲食	ナービス業	1	1.5%	4	4.6%	1	1.0%	-75.0%	0.0%
	そ の	他	4	6.0%	4	4.6%	3	3.1%	-25.0%	-25.0%
	合	計	67	100.0%	87	100.0%	97	100.0%	11.5%	44.8%
	製 造	業	348	9.6%	348	9.5%	358	8.2%	2.9%	2.9%
	卸 売	業	337	9.3%	281	7.7%	353	8.1%	25.6%	4.7%
	小 売	業	320	8.8%	287	7.8%	402	9.2%	40.1%	25.6%
東	サ ー ビ	ス業	964	26.7%	924	25.2%	1,333	30.6%	44.3%	38.3%
<b>京</b>	建設	業	230	6.4%	294	8.0%	285	6.5%	-3.1%	23.9%
東京都全体	不 動	産 業	346	9.6%	414	11.3%	416	9.5%	0.5%	20.2%
体	情報通信業	・運輸業	484	13.4%	509	13.9%	545	12.5%	7.1%	12.6%
	宿泊業,飲食+	ナービス業	173	4.8%	148	4.0%	185	4.2%	25.0%	6.9%
	そ の	他	415	11.5%	461	12.6%	485	11.1%	5.2%	16.9%
	合	計	3,617	100.0%	3,666	100.0%	4,362	100.0%	19.0%	20.6%

#### 1. 企業倒産動向

今期(令和6年1月~3月)の東京都内の企業倒産は、件数は416件、負債総額は828億3,100万円となった。件数は前期比7.8%減、前年同期比22.7%増となり、負債総額は同66.9%減、同19.7%減となった。業種別の倒産件数は、サービス業が99件で最も多く、次いで卸売業が63件、建設業が49件となった。

今期の杉並区内の企業倒産は、件数は8件、負債総額は3億1,200万円となった。件数は前期比20.0%減、前年同期比700.0%増となり、負債総額は同55.1%減、同3020.0%増となった。業種別の倒産件数はサービス業が4件で最も多く、次いで建設業が2件であった。

#### 2. 休廃業・解散動向

今期(令和6年1月~3月)の東京都内の休廃業・解散件数は4,362件となり、前期比19.0%増、前年同期比20.6%増となった。業種別では、サービス業が1,333件で最も多く、次いで情報通信業・運輸業が545件、不動産業が416件となった。なお、その他が485件であった。

今期の杉並区内の休廃業・解散件数は 97 件となり、前期比 11.5%増、前年同期比 44.8%増となった。業種別では、サービス業が 36 件で最も多く、次いで情報通信業・運輸業が 14 件、小売業が 11 件となった。

#### 特別調査「中小企業における人材戦略について」(令和6年3月上旬調査)

注1. 本調査は、主に杉並区の状況について記載しています。グラフでは杉並区と東京都全体の比較をしています。 注2. 回答により100%にならないこともあります。

本 | ① 現在の人材の状況について懸念していること 「若手が不足している」36.3%、「高齢化が進んでいる」25.5% ② 今後の人材確保に向けた対応策 「中途採用の強化」38.7%、「新卒採用の強化」18.6% ③ 職場内での実地訓練(OJT)以外の取組みの実施 「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」17.1% 杳 「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」15.1% 結 ④ 賃金 (定期昇給、賞与等除く) 引上げ実施状況 「引上げを実施する」45.9%、「引上げを実施しない」54.2% 賃金引上げ率は「0%以上2%未満」が28.8% 果 引上げを実施しない理由は「今後の業績見通しが不透明」15.6% ⑤「2024年問題」の影響と対応状況 影響については「影響はない・わからない」70.9% 『悪影響がある』27.1% 特 (「やや悪影響がある」19.2%、「大きく悪影響がある」7.9%) 対応状況については「対応を取る必要はない」52.2% 徴 「必要性は感じているが対応していない」34.0%

#### 問1. 現在の人材の状況について懸念していること

自社における現在の人材の状況について懸念していることをお伺いした(最大3つまで)。その結果、「若手が不足している」が36.3%で最も高く、次いで「高齢化が進んでいる」が25.5%、「熟練者が不足している」が17.6%であった。なお「懸念していることはない」は25.5%であった。

業種別にみると、製造業、不動産業では「高齢化が進んでいる」が 4 割近く、2 割半ばで最も高く、それ以外の業種では「若手が不足している」が 3 割近くから 6 割近くで最も高くなった。建設業では「熟練者が不足している」が 3 割強で、比較的高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、「高齢化が進んでいる」は、東京都(38.9%)より杉並区が13.4 ポイント低く、「営業で働く従業員が少ない」は東京都(9.8%)より杉並区が7.4 ポイント高くなっている。

#### 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 (%) 36.3 若手が不足している 高齢化が進んでいる 38 9 熟練者が不足している 13.3 17.2 営業で働く従業員が少ない 生産、販売現場で働く従業員が少ない 管理職(店長、現場監督など含む)が少ない 業務上必要な資格取得者が不足している 経理や事務などで働く内部の従業員が少ない 規模(売上や利益)と比較して人員が多い 懸念していることはない ■杉並区 ■東京都

表 1 現在の人材の状況について懸念していること

#### 問2. 今後の人材確保に向けた対応策

今後の自社の人材確保に向けた対応策についてお伺いした(最大3つまで)。その結果、「中途採用の強化」が38.7%で最も高く、次いで「新卒採用の強化」が18.6%、「非正規社員の活用」が10.8%となった。なお、「特に対応策を検討していない」は38.2%であった。

業種別にみると、すべての業種で「中途採用の強化」が2割半ばから5割半ばで最も高くなった。製造業では「新卒採用の強化」が4割近くで比較的高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、「外国人の活用」は、東京都(5.9%)より杉並区が4.4ポイント高く、「特に対応策を検討していない」は東京都(46.8%)より杉並区が8.6ポイント低くなっている。

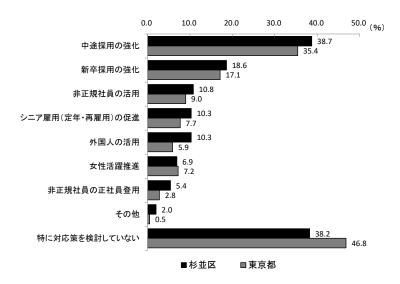


表2 今後の人材確保に向けた対応策

#### 問3. 職場内で実施している人材育成実地訓練(OJT)以外の取組み

職場内での実地訓練(0JT)以外の取組みの実施についてお伺いした(最大3つまで)。その結果、「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」が17.1%で最も高く、次いで「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」が15.1%、「業界団体の研修に参加」が11.2%であった。なお、「実施していない」は64.9%であった。

業種別にみると、製造業では「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」が3割強で最も高く、「業界団体の研修に参加」が2割強と比較的高い割合となった。建設業、不動産業では「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」が2割以上で最も高くなった。小売業では「実施していない」が8割強を占めた。

なお、東京都と比較すると、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」は、東京都(9.9%)より杉並区が5.2 ポイント高く、「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」は東京都(20.7%)より杉並区が3.6 ポイント低くなっている。

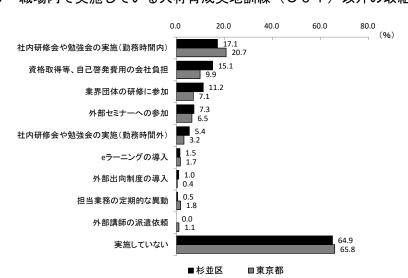


表3 職場内で実施している人材育成実地訓練(OJT)以外の取組み

#### 問4. 2024 年中の賃金(定期昇給、賞与等除く)引上げ実施状況

人材定着などに向けた 2024 年中の賃金(定期昇給、賞与等除く)引上げ実施状況を伺ったところ、引上げを実施する(予定を含む)企業は 45.9%となり、賃金引上げ率は「0%以上 2%未満」が 28.8%で最も高く、次いで「2%以上 4%未満」が 12.2%となった。一方、引上げを実施しない企業は 54.2%となり、理由については「今後の業績見通しが不透明」が 15.6%、「自社に従業員はいない(家族経営など)」が 13.2%、「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」が 11.7%となった。

業種別にみると、製造業、建設業、不動産業では引上げを実施する(予定を含む)企業が5割台となった。 一方、小売業では引上げを実施しない企業が7割近くとなり、実施しない理由は「自社に従業員はいない(家 族経営など)」「今後の業績見通しが不透明」がともに2割前後となった。

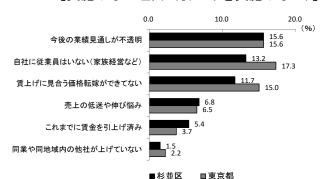
なお、東京都と比較すると、引上げを実施する(予定を含む)企業は、東京都(39.6%)より杉並区が 6.3 ポイント高くなっている。

#### 表 4 賃金(定期昇給、賞与等除く)引上げ実施状況

#### 【賃金引上げ率(引上げを実施する)】

# 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 (%) 0%以上2%未满 23.6 23.6 23.6 4%以上6%未满 12.2 11.5 4%以上6%未满 3.4 3.3 6%以上 1.5 1.2

#### 【実施しない理由(引上げを実施しない)】



#### 問5.「2024年問題」の影響と対応状況

■杉並区 ■東京都

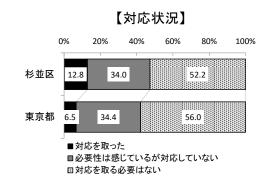
「2024年問題」(建設業、自動車運転業、医師などでの残業時間の上限規制)に対する自社の業務への影響と今後の対応について伺った。その結果、業務への影響については「影響はない・わからない」が 70.9%で最も高くなった。これに次いで、「やや悪影響がある」が 19.2%、「大きく悪影響がある」が 7.9%となり、2 つを合わせた『悪影響がある』は 27.1%となった。対応状況については「対応を取る必要はない」が 52.2%で最も高く、次いで「必要性は感じているが対応していない」が 34.0%、「対応をとった」が 12.8%となった。

業種別にみると、業務への影響については、すべての業種で「影響はない・わからない」が過半数を占めた。 建設業では「やや悪影響がある」が 32.7%と他に比べ高く、『悪影響がある』は 40.9%にのぼった。対応状況 については、すべての業種で「対応を取る必要はない」が 4 割を超え最も高く、建設業では「必要性は感じて いるが対応していない」が 4 割強、製造業では「対応をとった」が 2 割弱と、比較的高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、業務への影響については、『悪影響がある』は東京都(24.0%)より杉並区が 3.1 ポイント高くなっている。対応状況については、「対応をとった」は東京都(6.5%)より杉並区が 6.3 ポイント高くなっている。

#### 表5 「2024年問題」の影響と対応

#### 【業務への影響】 20% 40% 100% 0% 60% 80% 杉並区 19.2 70.9 1.5 0.5 東京都 4.5 19.5 73.6 1.1 0.3 ■大きく悪影響がある ■やや悪影響がある □影響はない・わからない □やや好影響がある 口大きく好影響がある



# 中小企業景況調査 比較表

#### (令和6年1月~3月期)

#### 製造業

#### [今期の景況]

_	が州の京沈」	全位	<u></u>
		杉並区	全都
業況	₹	16	-9
売」	上額	16	-2
受注	主残	13	-4
収益	<b>±</b>	8	-6
販引	<b>-</b>	43	20
原札	才料価格	55	44
原札	<b>才料在庫</b>	3	2
資金	を繰り	9	-10
雇	残業時間	-7	-1
用	人手	-41	-14
同	売上額	26	3
期	収益	11	-5
比			
	① 原材料高	52	40
経営	② 人手不足	37	17
上の	③ 売上の停滞・減少	22	35
問	④ 仕入先からの値上げ要請	19	11
題点	⑤ 同業者間の競争の激化	11	16
	① 販路を広げる	63	53
重	② 人材を確保する	37	18
点経	③ 経費を節減する	33	44
営施	④ 新製品・技術を開発する	15	10
策	⑤ 工場・機械を増設・移転する	11	5
借り		8	-3

#### [来期の景況見通し]

業況	ਦ	12	-7
売」	=額	10	-1
受活	主残	13	-2
収益	<b>益</b>	-4	-5
販引	<b></b>	26	16
原札	才料価格	32	37
原札	材料在庫	3	2
資金	会繰り	2	-9
雇	残業時間	-4	-1
用	人手	-41	-14

#### 卸売業

#### [今期の景況]

	7 77 以 从 ]	全	体
		杉並区	全都
業況	元	-22	-9
売」	上額	-3	1
収益	益	-22	-7
販売	も価格	46	32
仕え	人価格	57	49
在厚	<b></b>	2	7
資金	を繰り	-12	-9
雇	残業時間	-15	-2
用	人手	-20	-14
		5	7
同期	収益	-5	-4
比	販売価格	60	38
	① 売上の停滞・減少	45	37
経営	② 仕入先からの値上げ要請	25	25
上の	③ 人件費の増加	20	9
問	④ 利幅の縮小	20	23
題点	⑤ 人手不足	20	16
	<ol> <li>(1) 販路を広げる</li> </ol>	50	59
重	②情報力を強化する	35	17
点経	③ 経費を節減する	35	41
営施	④ 取引先を支援する	15	2
策	⑤ 教育訓練を強化する	15	4
借え	人の難易度	0	-1

#### [来期の景況見通し]

業況	-12	-6
売上額	4	5
収益	-12	-3
販売価格	47	27
仕入価格	48	42
在庫	-3	3
資金繰り	-13	-8
雇 残業時間	0	-2
月 人手	-10	-13

- \* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度 \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

#### 小売業

#### [今期の景況]

	(1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/	全	体		家具・建具 ・じゅう器		飲食店		料品	衣服、呉服、 身の回り品	
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況	5	-2	-14	-	-31	9	-2	-9	-14	-42	-28
売」	:額	13	-3	_	-24	19	23	11	-4	-6	-13
収益	±	13	-12	1	-32	3	10	2	-13	-5	-23
販売	ē価格	40	25	-	25	40	34	44	29	19	18
仕ノ	(価格	50	42	-	46	57	59	49	45	22	32
在厚		-2	2	-	-14	-1	4	-2	2	-12	4
資金	会繰り	-11	-13	-	-16	1	-13	1	-13	-33	-23
雇	残業時間	-8	-1	-	0	0	10	-7	-3	0	-3
用	人手	-22	-12	-	-8	-13	-20	-43	-13	0	-8
同	売上額	35	4	-	-4	50	34	43	1	-17	-12
期	収益	24	-8	-	-15	25	18	21	-9	-17	-22
比	販売価格	46	30	-	23	38	36	57	36	17	22
	① 同業者間の競争の激化	32	19	-	15	-	19	29	17	33	17
経営	② 仕入先からの値上げ要請	24	21	-	27	25	37	29	21	-	15
上の	③ 大型店との競争の激化	22	17	-	12	13	6	14	18	17	15
問	④ 人手不足	22	12	-	12	25	24	29	14	-	9
題点	⑤ 人件費の増加	16	8	-	4	38	16	21	11	-	1
	① 経費を節減する	38	45	-	35	25	55	43	49	33	33
重	② 宣伝・広告を強化する	27	20	-	4	25	23	21	19	17	21
点経	③ 人材を確保する	19	10	-	15	25	20	29	11	-	3
営施	④ 商店街事業を活性化させる	16	12	-	19	13	10	14	13	17	17
策	⑤ 売れ筋商品を取り扱う	14	14	-	15	13	10	-	13	50	19
借り	の難易度	7	-6	-	-9	0	-10	8	-7	0	-12

#### [来期の景況見通し]

業況	-2	-13	_	-28	1	4	-7	-16	-41	-27
売上額	19	-3	-	-29	32	21	22	-5	-14	-11
収益	20	-10	-	-35	13	10	23	-11	-15	-20
販売価格	36	21	-	21	40	27	42	26	4	16
仕入価格	42	36	-	37	33	48	48	40	21	30
在庫	0	1	-	-10	-4	2	1	2	-9	4
資金繰り	-11	-12	-	-16	0	-11	6	-12	-30	-19
雇残業時間	-5	0	-	-4	0	9	0	-2	0	-3
用 人手	-22	-12	_	-8	-13	-19	-43	-12	0	-6

<sup>\*</sup>季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り \*単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度 \*企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# サービス業

# [今期の景況]

	7 州 (7 泉 ル )	全位	本	洗濯、理茗	字、美容 <b>業</b>	自動車 駐車	整備業、 場業
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況	₹	-1	-6	-10	-18	-31	-11
売上	=額	18	5	-9	-5	14	0
収益	<u> </u>	2	-3	-14	-12	1	-9
料金	<b>全価格</b>	16	18	7	14	55	17
材米	4価格	37	38	10	41	94	44
資金	<b>会繰り</b>	-2	-8	-11	-13	1	-9
/生	残業時間	9	1	0	-3	40	1
用	人手	-34	-25	-9	-7	-60	-23
同	売上額	17	12	0	1	0	5
期比	収益	13	2	-9	-12	0	-5
	① 材料価格の上昇	32	25	27	31	60	31
経営	② 人手不足	32	30	9	11	60	24
上	③ 同業者間の競争の激化	26	22	46	27	_	20
の問	④ 人件費の増加	15	19	18	11	40	7
題点	⑤ 売上の停滞・減少	11	28	9	29	20	29
	① 販路を広げる	38	38	46	25	20	46
重	② 人材を確保する	34	26	18	11	40	18
点経	③ 経費を節減する	32	41	36	45	40	40
営施	④ 宣伝・広告を強化する	15	15	18	22	20	11
策	⑤ 労働条件を改善する	13	6	_	2	20	2
借力	    の難易度	-3	-3	0	-12	33	-1

# [来期の景況見通し]

業況		3	-5	-7	-18	-40	-14
売上額	Į	7	3	-11	-9	3	-6
収益		3	-4	-12	-14	-9	-14
料金価	ī格	11	16	10	12	42	18
材料価	ī格	27	35	10	34	56	44
資金繰	∮₽)	1	-8	-10	-13	-4	-9
雇残	業時間	0	0	0	-3	20	-2
用人	手	-30	-27	-9	-10	-60	-24

- \*季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り \*単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度 \*企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

### 建設業

# [今期の景況]

	7 77 St. 11.	全位	本
		杉並区	全都
業況	₹	19	11
売」	<b>三額</b>	16	11
受注	主残	17	10
施コ		21	14
収益	<del>1</del>	9	1
請負	自価格	29	25
材米	4価格	56	57
在盾		2	1
資金	会繰り	-4	-2
雇	残業時間	0	0
用	人手	-37	-35
同	売上額	31	15
期	収益	23	3
比			
	① 人手不足	49	42
経営	② 材料価格の上昇	41	54
上の	③ 人件費の増加	18	12
問	④ 同業者間の競争の激化	18	20
題点	⑤ 下請の確保難	16	12
	① 販路を広げる	55	36
重	② 人材を確保する	41	42
点経	③ 経費を節減する	27	43
営施	④ 技術力を高める	18	17
策	⑤ 情報力を強化する	10	15
借り	の難易度	0	0

# [来期の景況見通し]

業況	ਰ	16	10
売」	-額	18	11
受注	主残	17	11
施コ	高	19	12
収益	<b>±</b>	15	2
請負	負価格	25	22
材米	斗価格	51	51
在厚	Tiell	-1	-1
資金	を繰り	4	-3
雇	残業時間	-6	-1
用	人手	-35	-35

### 不動産業

# [今期の景況]

	7 77 St. 176 ]	全	体
		杉並区	全都
業況	₹	14	6
売上	<b>-</b> 額	8	8
収益	\$	4	6
販売	<b>-</b>	26	22
仕り	(価格	48	32
在盾		-27	-12
資金	を繰り	18	1
雇	残業時間	4	0
用	人手	-4	-10
回	売上額	-4	11
期	収益	4	5
出			
	① 商品物件の不足	48	27
経営	② 商品物件の高騰	40	34
上の	③ 同業者間の競争の激化	36	26
問	④ 売上の停滞・減少	16	16
題点	⑤ 人件費以外の経費の増加	12	3
	① 情報力を強化する	56	39
重	② 販路を広げる	28	30
点経	③ 経費を節減する	24	26
営施	④ 不動産の有効活用を図る	16	12
策	⑤ 宣伝・広告を強化する	16	20
借り	の難易度	8	2

# [来期の景況見通し]

業況	₹	13	2
売」	<b>三額</b>	32	4
収益	<b>±</b>	33	3
販売	<b>-</b>	34	17
仕り	(価格	39	27
在原	Time!	-25	-13
資金	を繰り しゅうしゅう	11	0
雇	残業時間	0	0
用	人手	-4	-10

- \*季節変動調整済D·Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り \*単純D·Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度 \*企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 転記表

(令和6年1月~3月期)

製造業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

### 中小企業景況調査 転記表 No.1

		域名:杉並区 分類:業種合計												<b>汁</b> ,夂	項目の左	: /Bil (+ :	前期調本	I- +: I+ Z		年1月~ 3月期
1	- 41		A #	14/5	A 10	14/5		4.5	A 10	ve /=		r /=	٨٠٠	令和5年 令和5年 令和6						
변경 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						-				-				-						
# 注	<u></u> 坦																		削期比	
# Parameter																				23.1
## 1																				69.2
## 日本	業況																			7.7
## 1																				15.4
				-32.5		-4.2		10.8		-15.6		4.0		17.9		9.0		5.2	4.9	11.7
## 25													i i							
##																				25.9
Paris	赤					70.0		90.0		70.0		81.8								59.3
接足性						_				_										14.8
## A	報																			11.1
操った				-11.7		33.3		16.8		11.0		15.1		18.8		30.3		-3.3	7.1	10.0
要します。																				
<ul> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>								-		_										29.6
	皿																			59.3
接正性 -2.4 -14.2 -10.0 23.0 -10.1 -2.7 -0.5 -12.5 38.5 -13.3 20.8 10.7 18.3 13.2 12.5 18.8 -5.8 13  接向性 -16.7 -11.0 0 -8.8 -7.5 -0.8 11.4 -13.4 240 -240 -240 -240 -240 -240 -240 -240	注																			11.1
<ul> <li>競 南 徳</li> <li>一167</li> <li>一10</li> <li>一98</li> <li>一75</li> <li>08</li> <li>114</li> <li>194</li> <li>240</li> <li>240</li> <li>240</li> <li>240</li> <li>240</li> <li>240</li> <li>240</li> <li>240</li> <li>250</li> <li>200</li> <li>200<td>残</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>25.0</td><td></td><td>18.5</td></li></ul>	残																	25.0		18.5
世 加 300 182 200 200 100 100 91 - 346 - 370 154 250 308 259 250 222 25 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		修正値	-2.4	-14.2	-10.9	23.0		-2.7		-12.5	38.5	-13.3	20.8	10.7	18.3	13.2		16.8	-5.8	13.4
接 ら ず		傾向値	-16.7		-11.0		-9.8		-7.5		0.8		11.4				24.0			
数 少			30.0	18.2	20.0	20.0	10.0	10.0	9.1	-	34.6		37.0	15.4	25.0	30.8	25.9	25.0		22.2
## Part			50.0		80.0			90.0				100.0	44.5							55.6
接上性   11.2   1.3   10.0   12.9   -26.2   16.4   -15.8   -12.9   14.0   -6.8   5.1   -3.7   3.0   18.1   7.6   -0.7   4.6   -3   -3   (i.i.g)   (i.i.g)		減少		9.1	-			-						23.1	28.6	15.4		21.4		22.2
横向値		D · I	10.0	9.1	20.0	10.0	-30.0	10.0	-18.2	-10.0	19.2	0.0	18.5	-7.7	-3.6	15.4	0.0	3.6		0.0
展表価格 300 27.3 10.0 30.0 40.0 0.0 45.5 40.0 42.4 45.5 44.5 27.0 50.0 15.4 51.9 32.1 33.4 46.1 24.1 43.0 29.3 -1.1 25.6 1.1 11.1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1.3		12.9		16.4		-12.9		-6.8		-3.7		18.1		-0.7	4.6	-3.6
修正値   26.5   21.4   12.4   25.8   32.8   4.5   36.1   35.4   35.2   32.5   47.3   23.1   44.1   24.1   43.0   29.3   -1.1   25.5   14.3   21.8   29.1   32.9   38.8   44.4   46.4		傾 向 値	-7.9		0.5		-0.8		-4.6		-3.4		-2.4		0.7		6.3			
修正値   26.5   21.4   12.4   25.8   32.8   4.5   36.1   35.4   35.2   32.5   47.3   23.1   44.1   24.1   43.0   29.3   -1.1   25.5   14.3   21.8   29.1   32.9   38.8   44.4   46.4																				
修正値   26.5   21.4   12.4   25.8   32.8   4.5   36.1   35.4   35.2   32.5   47.3   23.1   44.1   24.1   43.0   29.3   -1.1   25.5   14.3   21.8   29.1   32.9   38.8   44.4   46.4																				
修正値   26.5   21.4   12.4   25.8   32.8   4.5   36.1   35.4   35.2   32.5   47.3   23.1   44.1   24.1   43.0   29.3   -1.1   25.5   14.3   21.8   29.1   32.9   38.8   44.4   46.4																				
修正値   26.5   21.4   12.4   25.8   32.8   4.5   36.1   35.4   35.2   32.5   47.3   23.1   44.1   24.1   43.0   29.3   -1.1   25.5   14.3   21.8   29.1   32.9   38.8   44.4   46.4																				
修正値   26.5   21.4   12.4   25.8   32.8   4.5   36.1   35.4   35.2   32.5   47.3   23.1   44.1   24.1   43.0   29.3   -1.1   25.5   14.3   21.8   29.1   32.9   38.8   44.4   46.4																				
修正値   26.5   21.4   12.4   25.8   32.8   4.5   36.1   35.4   35.2   32.5   47.3   23.1   44.1   24.1   43.0   29.3   -1.1   25.5   14.3   21.8   29.1   32.9   38.8   44.4   46.4																	<u> </u>			
# 傾向値 6.9																				37.0
動向         原材料価格         30.0         36.4         50.0         40.0         70.0         40.0         63.6         60.0         69.2         54.5         77.8         57.7         53.6         57.7         59.3         39.3         33.3           "修正値         27.0         27.1         44.1         35.0         68.0         38.2         53.2         61.3         65.4         42.3         66.9         53.1         54.1         54.0         55.0         43.8         0.9         31           在資資 協会         "傾向値         5.8         15.8         32.1         47.7         58.3         66.7         68.1         54.1         54.0         55.0         43.8         0.9         31           在資資 協会         "修正値         -6.8         -8.6         -2.2         1.0         1.4         -2.5         -3.6         1.0         7.2         -0.5         1.4         1.4         8.3         0.9         3.3         4.6         -5.0         3           直 金         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **         **						25.8		4.5		35.4		32.5		23.1		24.1		29.3	-1.1	25.5
向 原材料価格 30.0 36.4 50.0 40.0 70.0 40.0 63.6 60.0 69.2 54.5 77.8 57.7 53.6 57.7 59.3 39.3 33.3 33.3 33.3 33.3 33.3 33.3																				
# 傾向値 5.8 15.8 32.1 47.7 58.3 66.7 68.1 65.5 1																				37.0
在音 原材料在庫数 量 -100 -9.1 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 3.8 0.0 3.7 0.0 7.1 3.8 7.4 3.6 3.6 3.6 3.6 3.6 3.6 3.6 3.6 3.6 3.6				27.1		35.0		38.2		61.3		42.3		53.1		54.0		43.8	0.9	31.7
在資													i i							
接触 は い	在資																			3.7
## 修正値	• 繰												l I							
前間 表 上 額 10.0     0.0     10.0     18.2     46.2     40.7     25.0     25.9     11.1       収 益 20.0     0.0     -20.0     -9.1     30.8     29.6     21.4     11.1     11.1       屋 用 人 手 0.0     0.0     -20.0     -20.0     -9.1     -20.0     -3.8     -9.1     -7.4     -3.8     0.0     -3.7     -7.4     0.0     -6.2       人 手 0.0     0.0     0.0     -10.0     0.0     0.0     -20.0     -20.0     -20.0     -27.0     -18.2     -33.3     -30.8     -32.1     -29.6     -40.7     -25.0     -40.0       借入をした (%) 40.0     27.3     20.0     30.0     20.0     18.2     20.0     46.2     27.3     18.5     30.8     21.4     18.5     25.9     21.4       借入をしない (%) 60.0     72.7     80.0     70.0     80.0     80.0     81.8     80.0     53.8     72.7     81.5     69.2     78.6     81.5     74.1     78.6     77.7       借入 難 易度     0.0     0.0     -25.0     -25.0     -25.0     4.0     12.0     3.7     7.7     12.0	IJ																			3.7
世界 世界 日本						15.8		-0.9		-8.3		-22.4		0.1		-1.2		3.4	10.8	1.5
程 横 横 大 全 は 大 全 は 大 大 全 は 大 大 全 は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大																				
用     人     手     0.0     0.0     0.0     -10.0     0.0     -20.0     -27.0     -18.2     -33.3     -30.8     -32.1     -29.6     -40.7     -25.0     -44       借     借入をした (%)     40.0     27.3     20.0     30.0     20.0     18.2     20.0     46.2     27.3     18.5     30.8     21.4     18.5     25.9     21.4     22.0       借入をしない (%)     60.0     72.7     80.0     70.0     80.0     80.0     81.8     80.0     53.8     72.7     81.5     69.2     78.6     81.5     74.1     78.6     77.7       借入 難 易 度     0.0     0.0     -25.0     -25.0     4.0     12.0     3.7     7.7     7.7		収 益	20.0		0.0		-20.0		-9.1		30.8		29.6		21.4		11.1			
用     人     手     0.0     0.0     0.0     -10.0     0.0     -20.0     -27.0     -18.2     -33.3     -30.8     -32.1     -29.6     -40.7     -25.0     -44       借     借入をした (%)     40.0     27.3     20.0     30.0     20.0     18.2     20.0     46.2     27.3     18.5     30.8     21.4     18.5     25.9     21.4     22.0       借入をしない (%)     60.0     72.7     80.0     70.0     80.0     80.0     81.8     80.0     53.8     72.7     81.5     69.2     78.6     81.5     74.1     78.6     77.7       借入 難 易 度     0.0     0.0     -25.0     -25.0     4.0     12.0     3.7     7.7     7.7	_	T4 44 5+ 00			00.5			60.5		60.5	2.5				2.5					
借入をした     (物)     40.0     27.3     20.0     30.0     20.0     18.2     20.0     46.2     27.3     18.5     30.8     21.4     18.5     25.9     21.4       借入をしない     (物)     60.0     72.7     80.0     70.0     80.0     80.0     81.8     80.0     53.8     72.7     81.5     69.2     78.6     81.5     74.1     78.6     77.7       借入 難易度     0.0     0.0     -25.0     -25.0     4.0     12.0     3.7     7.7																				-3.7
構入をしない (%) 60.0 72.7 80.0 70.0 80.0 81.8 80.0 53.8 72.7 81.5 69.2 78.6 81.5 74.1 78.6 77.													i i							-40.7
金 借入難易度 0.0 0.0 -25.0 -25.0 4.0 12.0 3.7 7.7	18																			22.2
	金					70.0		80.0		80.0		72.7		69.2		81.5				77.8
有効回答事業所数 10 10 10 11 26 27 28 27		旧八無汤及	0.0		0.0		-25.0		-25.0		4.0		12.0		3./		1.1			
		<b>有効回答事業所数</b>		10		10		10		11		26		27		28		27		

製造業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

令和6年1月~ 3月期 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

	調査期	令和	]4年	令和	4年	令和	4年	令和	5年	令和	5年	令和	5年	令和	5年	令和	]6年	対	令和6年
項	目	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	前期比	4月~6月期
	現在の設備	10.0	9.1	0.0	10.0	-10.0	0.0	-9.1	-10.0	-11.5	-18.2	-3.7	-11.5	-10.7	-7.4	-14.8	-10.7		-18.5
	実施した	20.0	18.2	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	22.2	38.5	33.3	25.9	48.0	25.9	40.7	25.9	28.6		37.0
設	事業用地・建物	-	-	-	_	-	_	-	-	-	_	-	8.3	14.3	9.1	28.6	12.5		20.0
備投	機械・設備の新・増設	50.0	50.0	-	50.0	50.0	_	-	100.0	50.0	66.7	42.9	16.7	28.6	45.5	57.1	25.0		50.0
資動	機械・設備の更改	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	50.0	30.0	33.3	42.9	75.0	57.1	45.5	14.3	37.5		50.0
向 (%)	投 事務機器	-	-	-	_	50.0	_	-	-	40.0	_	14.3	16.7	14.3	9.1	-	25.0		-
	内 車両	-	-	-		50.0	-	-	50.0	10.0	-	14.3	16.7	14.3	9.1	14.3	12.5		10.0
	その他	_	-	-	_	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	9.1	-	-		-
-	実施しない	80.0	81.8	90.0	80.0	80.0	100.0	100.0	77.8	61.5	66.7	74.1	52.0	74.1	59.3	74.1	71.4		63.0
1	売上の停滞・減少	50.0		40.0		50.0		36.4		23.1		25.9		25.0		22.2			
1	人手不足	10.0		10.0		10.0		27.3		30.8		29.6		28.6		37.0			
1	大手企業との競争の激化	10.0		20.0		10.0		9.1		7.7		3.7		3.6		7.4			
1	同業者間の競争の激化	10.0		40.0		20.0		9.1		11.5		11.1		14.3		11.1			
1	親企業による選別の強化	_		-		_		-		-		- 2		-		_			
1	輸入製品との競争の激化	10.0		_				_		3.8		3.7 3.7		3.6		3.7			
	合理化の不足			-				07.0											
	利幅の縮小 原材料高	30.0 40.0		20.0 30.0		20.0 30.0		27.3 36.4		23.1 38.5		22.2 51.9		14.3 53.6		7.4 51.9			
1		40.0		30.0		30.0		30.4		3.8		3.7		3.6		7.4			
経	販売納入先からの値下げ要請 仕入先からの値上げ要請	_		10.0		20.0		27.3		23.1		29.6		25.0		18.5			
営上	人件費の増加	10.0		10.0		10.0		9.1		7.7		7.4		3.6		3.7			
の問	人件費以外の経費増加	-		-		-		-		3.8		_		-		-			
題点	工場・機械の狭小・老朽化	10.0		10.0		10.0		9.1		3.8		-		10.7		7.4			
(%)	生産能力の不足	-		_		_		_		3.8		3.7		10.7		7.4			
1	下請の確保難	-		-		-		-		3.8		-		3.6		3.7			
1	代金回収の悪化	-		_		_		-		-		-		-		-			
1	地価の高騰	-		-		_		-		-		-		-		_			
1	天候の不順	-		-		-		9.1		3.8		-		-		-			
1	地場産業の衰退	-		-		_		-		-		-		-		-			
1	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	為替レートの変動	10.0		-		10.0		-		3.8		3.7		7.1		7.4			
1																			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	問題なし	-		-		-		-		7.7		7.4		-		-			
	販路を広げる	100.0		90.0		70.0		72.7		76.9		74.1		67.9		63.0			
	経費を節減する	50.0		60.0		50.0		36.4		26.9		25.9		39.3		33.3			
	情報力を強化する	10.0		10.0		10.0		9.1 18.2		11.5		22.2 18.5		14.3		7.4			
	新製品・技術を開発する	10.0				10.0		18.2		23.1		18.5		21.4		14.8			
	不採算部門を整理・縮小する 提携先を見つける			_		10.0		27.3		15.4		3.7		3.6		7.4			
_	機械化を推進する	_		_		10.0				7.7		11.1		3.6		3.7			
重点	人材を確保する	20.0		10.0		20.0		27.3		26.9		37.0		21.4		37.0			
経営	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
営施策	教育訓練を強化する	_								7.7		3.7		3.6					
(%)	労働条件を改善する	_		-		_		-		_		_		3.6		3.7			
	工場・機械を増設・移転する	10.0		10.0		30.0		9.1		7.7		7.4		14.3		11.1			
	不動産の有効活用を図る	_		-		_		-		_		3.7		3.6		3.7			
	その他	_		-		_		-		_		-		-		_			
_	特になし	-		10.0		10.0		9.1		3.8		7.4		7.1		11.1			
4	可効回答事業所数		10		10		10		11		26		27		28		27		

卸売業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

令和6年1月~3月期 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

	<b>刀 块.</b>	<b>美種台計</b>												T . T	快日の石	I HUI I & C. F.	刊栁剛且	1-1211/2	) 1 / iSi ( i	
1		調査期	令和	4年	令和	]4年	令和	]4年	令和	5年	令和	5年	令和	15年	令和	15年	令和	16年	対	令和6年
項	目		4月~	6月期	7月~	9月期	10日~	12月期	1月~	3月期	4月~	6月期	7月~	9日期	10月~	12日期	1日~	3月期	前期比	4月~6月期
Ĥ		13			.,,	-,,,,,													13.777.20	
	良	ر۱ 	15.4	7.7	_	_	15.4		15.4	15.4	16.0	23.1	21.7	12.0	17.4	18.2	10.0	18.2		15.8
1	普	通	46.1	38.5	77.8	50.0	46.1	100.0	61.5	46.1	52.0	61.5	56.6	52.0	52.2	59.1	60.0	54.5		63.1
業況	悪	い	38.5	53.8	22.2	50.0	38.5	-	23.1	38.5	32.0	15.4	21.7	36.0	30.4	22.7	30.0	27.3		21.1
"	р.	I	-23.1	-46.1	-22.2	-50.0	-23.1	0.0	-7.7	-23.1	-16.0	7.7	0.0	-24.0	-13.0	-4.5	-20.0	-9.1		-5.3
1	修正	值	-19.4	-40.3	-25.3	-44.8	-23.6	-14.1	-10.7	-22.9	-14.2	2.1	-6.6	-12.6	-12.2	-18.4	-21.6	-9.7	-9.4	-11.7
1	傾向	直	-41.4		-36.4		-30.6		-22.9		-18.1		-14.5		-10.4		-10.7			
	増	加	15.4	7.7	-	7.7	30.8	_	30.8	23.1	40.0	23.1	30.4	24.0	21.7	26.1	25.0	21.7		30.0
1	変ら		46.1	84.6		61.5	61.5	100.0	53.8	61.5	44.0	69.2	56.6	60.0	56.6	65.2	50.0	60.9		55.0
売								100.0												
売上額	減	少	38.5	7.7	11.1	30.8	7.7		15.4	15.4	16.0	7.7	13.0	16.0	21.7	8.7	25.0	17.4		15.0
TIDH.	D •		-23.1	0.0		-23.1	23.1	0.0	15.4	7.7	24.0	15.4	17.4	8.0	0.0	17.4	0.0	4.3		15.0
1	修正	. 値	-23.0	-4.9		-17.0	17.1	-3.9	9.6	6.4	20.6	2.7	19.9	14.5	-3.5	14.5	-3.2	4.5	0.3	3.5
⊢	傾向	値	-26.3		-22.5		-13.4		-2.8		7.0		16.4		17.1		12.3			
1	増	加	7.7	7.7	-	-	23.1	-	23.1	23.1	28.0	23.1	13.0	12.0	8.7	8.7	10.0	8.7		10.0
1	変ら	っず	61.5	84.6	88.9	76.9	53.8	100.0	53.8	46.1	48.0	61.5	74.0	56.0	65.2	82.6	60.0	73.9		80.0
収	減	少	30.8	7.7	11.1	23.1	23.1	-	23.1	30.8	24.0	15.4	13.0	32.0	26.1	8.7	30.0	17.4		10.0
益	р.	I	-23.1	0.0	-11.1	-23.1	0.0	0.0	0.0	-7.7	4.0	7.7	0.0	-20.0	-17.4	0.0	-20.0	-8.7		0.0
	修正		-21.2	-7.3		-16.3	-5.1	0.3	-4.8	-9.9	5.4	-4.7	1.6	-10.3	-19.6	1.7	-22.3	-10.7	-2.7	-11.5
	傾向		-27.1		-22.5	1010	-16.2		-10.5		-5.2		-0.4	1010	-1.2		-5.9			
	192 15		27.1		22.0		10.2		10.0		5.2		0.4		1.2		0.0			
1																				
$oxed{oxed}$																				
1																				
<u> </u>																				
	販	売 価 格	23.1	0.0	44.4	23.1	38.5	44.4	30.8	46.2	64.0	38.4	52.2	52.0	52.2	39.1	40.0	52.2		45.0
価		〃 修正値	17.1	3.1	35.0	17.1	37.0	32.5	32.7	41.9	51.7	40.4	40.8	45.2	49.7	30.4	45.8	45.9	-3.9	46.6
格		" 傾向値	0.1		9.4		19.8		29.4		39.3		45.4		48.1		51.0			
動向	仕	入 価 格	30.8	30.8	55.6	38.5	58.3	55.6	61.5	61.5	64.0	53.8	56.5	48.0	56.5	43.5	60.0	56.5		50.0
l <sup>*</sup>		" 修正值	22.4	30.4	55.6	27.1	55.2	52.1	55.9	62.5	55.2	51.2	56.2	39.5	55.4	42.4	56.6	58.6	1.2	47.5
1		<u> </u>	21.8		28.1		36.6		45.8		55.7		60.0		59.9		59.4			
		庫価格	15.4	7.7		15.4	7.7	0.0	15.4	0.0	16.0	15.4	13.1	16.0	0.0	8.7	5.0	0.0		0.0
在資庫会																			_4 ^	
庫金・繰			7.7	4.5		7.4	12.0	1.1	11.6	7.2	7.5	10.3	17.0	7.5	6.2	10.8	2.2	9.8	-4.0	-3.3
Ŋ		金 繰り	-30.8	-38.5		-30.8	-38.5	-22.2	-46.2	-46.2		-38.5			-13.0					-10.0
<b>—</b>		<u>" 修正値</u>	-29.4	-36.3		-30.7	-39.3	-23.0	-44.9	-44.7	-29.6	-37.1	-23.1	-26.0	-15.5	-24.6	-11.7	-11.1	3.8	-12.6
前同	売	上 額	-23.1		11.1		23.1		7.7		12.0		4.3		-4.3		5.0			
年期 比	収	益	-23.1		0.0		0.0		7.7		8.0		17.4		-17.4		-5.0			
<u> </u>	販	売 価 格	0.0		33.3		46.2		15.4		64.0		56.5		60.9		60.0			
雇	残	業 時間	0.0	0.0	-11.1	-7.7	0.0	11.1	-7.7	7.7	4.0	-7.7	-8.7	0.0	-4.3	-4.3	-15.0	0.0		0.0
用	人	手	0.0	-8.4	-11.1	-8.4	-7.7	-11.1	-7.7	0.0	-24.0	-15.4	-26.1	-16.0	-26.1	-21.7	-20.0	-21.7		-10.0
/#	借入を		0.0	0.0		0.0	15.4	0.0	30.8	15.4	28.0	30.8	8.7	8.0	8.7	17.4	10.0	4.3		15.0
借入		<u>- した</u> (%)	100.0	100.0		100.0	84.6	100.0	69.2	84.6	72.0	69.2	91.3	92.0	91.3	82.6	90.0			85.0
金		<u>*Cはい (物)                                   </u>	-30.8	100.0	-37.5	100.0	-8.4	100.0	-8.4	04.0	-18.2	09.2	-8.7	32.0	-4.4	02.0	0.0			65.0
$\vdash$		、	-30.8		-37.5		−8.4		−8.4		-18.2		−8./		-4.4		0.0			
1 7	有効回	答事業所数		13		9		13		13		25		23		23		20		

卸売業 地域名:杉並区

令和6年1月~3月期

中分類:業種合計 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。 調査期 令和4年 令和4年 令和4年 令和5年 令和5年 令和5年 令和5年 4月~6月期 7月~9月期 10月~12月期 1月~3月期 4月~6月期 7月~9月期 10月~12月期 1月~ 3月期 前期比 4月~6月期 現在の設備 -7.7 -22.2 0.0 -22.2 -7.7 0.0 -12.0 -8.7 -12.0 -8.7 -8.7 -15.0 -15.0 実<u>施した</u> 7.7 11.1 8.3 11.1 7.7 25.0 24.0 23.1 17.4 25.0 27.8 27.8 100.0 事業用地・建物 50.0 25.0 100.0 100.0 33.3 20.0 備投資動向% 16.7 機械・設備の新・増設 50.0 40.0 33.3 33.3 80.0 40.0 50.0 60.0 機械・設備の更改 33.3 25.0 20.0 33.3 25.0 投事務機器 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 20.0 20.0 40.0 25.0 20.0 車両 100.0 100.0 33.3 16.7 40.0 20.0 20.0 その他 100.0 91.7 実施しない 92.3 88.9 91.7 91.7 88.9 92.3 75.0 76.0 76.9 82.6 76.0 75.0 78.3 72.2 80.0 72.2 61.5 売上の停滞・減少 66.7 30.8 30.8 32.0 26.1 39.1 45.0 7.7 11.1 23.1 23.1 28.0 30.4 21.7 20.0 人手不足 23.1 11.1 38.5 46.2 30.4 26.1 15.0 同業者間の競争の激化 28.0 7.7 11.1 7.7 7.7 4.0 4.3 輸入品との競争の激化 8.0 4.3 4.3 流通経路の変化による競争の激化 合理化の不足 4.0 4.3 10.0 7.7 15.4 4.0 4.3 4.3 5.0 小口注文・多頻度配送の増加 利幅の縮小 15.4 11.1 30.8 15.4 40.0 34.8 30.4 20.0 取扱商品の陳腐化 販売商品の不足 8.0 13.0 4.3 10.0 7.7 8.7 5.0 販売納入先からの値下げ要請 仕入先からの値上げ要請 30.8 44.4 30.8 23.1 32.0 34.8 21.7 25.0 人件費の増加 8.0 4.3 4.3 20.0 問 題点(%) 人件費以外の経費の増加 11.1 7.7 23.1 8.0 4.3 4.3 5.0 取引先の減少 15.4 11.1 15.4 23.1 16.0 8.7 8.7 5.0 11.1 店舗の狭小・老朽化 7.7 4.3 5.0 代金回収の悪化 4.3 地価の高騰 駐車場の確保難 天候の不順 11.1 7.7 15.4 8.7 4.3 地場産業の衰退 為替レートの変動 33.3 23.1 23.1 8.0 8.7 13.0 15.0 大手企業・工場の縮小・撤退 7.7 11.1 7.7 7.7 5.0 7.7 4.3 その他 4.0 5.0 4.0 4.3 8.7 5.0 問題なし 販路を広げる 61.5 88.9 69.2 61.5 52.0 56.5 52.2 50.0 経費を節減する 61.5 44.4 53.8 61.5 36.0 39.1 34.8 35.0 品揃えを充実する 23.1 22.2 7.7 7.7 8.0 8.7 4.3 5.0 情報力を強化する 46.2 44.4 38.5 53.8 28.0 21.7 34.8 35.0 新しい事業を始める 11.1 15.4 7.7 12.0 17.4 4.3 10.0 提携先を見つける 7.7 7.7 4.0 4.3 8.7 10.0 7.7 7.7 機械化を推進する 8.0 4.3 4.3 10.0 人材を確保する 7.7 22.2 15.4 15.4 28.0 13.0 8.7 15.0 4.3 4.3 パート化を図る 4.3 4.3 教育訓練を強化する 7.7 7.7 4.0 15.0 22.2 7.7 23.1 12.0 13.0 4.3 5.0 流通経路の見直しをする 取引先を支援する 7.7 11.1 15.4 7.7 4.0 8.7 17.4 15.0 輸入品の取扱いを増やす 7.7 労働条件を改善する 7.7 4.0 8.7 7.7 7.7 不動産の有効活用を図る 4.0 11.1 4.0 4.3 その他 17.4 5.0 特になし 有効回答事業所数 23 20

小売業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

令和6年1月~3月期 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

		調査	期 令和	04年	令和	]4年	令和	4年	令和	15年	令和	5年	令和	15年	令和	]5年	令和	6年	対	令和6年
項	目			6月期	7月~		10月~		1月~		4月~		7月~			12月期	1月~		前期比	4月~6月期
	良	۱١.	16.7	10.0	20.0	13.3	11.1	12.5	11.5	11.1	14.3	11.5	13.5	14.7	17.9	10.8	21.6	15.4		22.9
	普	通	50.0	50.0	48.0	60.0	59.3	58.3	69.3	48.2	71.4	69.3	67.6	64.7	66.7	73.0	64.9	64.1		62.8
業	悪	L1	33.3	40.0	32.0	26.7	29.6	29.2	19.2	40.7	14.3	19.2	18.9	20.6	15.4	16.2	13.5	20.5		14.3
況	D	· I	-16.6	-30.0	-12.0	-13.4	-18.5	-16.7	-7.7	-29.6	0.0	-7.7	-5.4	-5.9	2.5	-5.4	8.1	-5.1		8.6
	修	正値	-12.6	-36.1	-11.2	-8.6	-18.9	-14.8	-14.4	-30.0	0.8	-15.8	-5.2	-2.8	2.5	-3.4	-1.8	-5.2	-4.3	-2.4
	傾	向 値	-34.5		-27.6		-22.8		-17.3		-11.6		-8.7		-5.3		-0.7			
	増	力D	20.0	13.3	15.4	10.0	14.8	8.0	15.4	14.8	34.3	11.5	29.7	26.5	35.9	27.0	32.4	25.6		37.8
١.	変	らず	60.0	46.7	61.5	66.7	74.1	72.0	69.2	59.3	45.7	65.4	51.4	50.0	51.3	56.8	54.1	56.5		54.1
売上	減	少	20.0	40.0	23.1	23.3	11.1	20.0	15.4	25.9	20.0	23.1	18.9	23.5	12.8	16.2	13.5	17.9		8.1
額		· I	0.0		-7.7	-13.3	3.7	-12.0	0.0	-11.1	14.3	-11.6	10.8	3.0	23.1	10.8	18.9	7.7		29.7
		正値	3.0		-4.3	-3.6	-4.3	-12.1	-2.5	-14.5	14.1	-16.4	12.5	10.4	13.1	5.8	12.7	1.6	-0.4	18.7
		向 値	-23.4		-15.0		-9.4		-3.9		0.8		4.9		9.6		14.4			
	増・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	加	16.7			10.0	11.1	8.0	15.4	7.4	31.4	11.5	29.7	26.5	33.3	29.7	30.6	28.9		33.3
Ι.		<u>らず</u> ・	53.3			66.7	63.0	68.0	57.7	59.3	48.6	53.9	51.4	50.0	48.8	54.1	58.3	55.3		61.1
収益	減	少	30.0			23.3	25.9	24.0	26.9	33.3	20.0	34.6	18.9	23.5	17.9	16.2	11.1	15.8		5.6
		· I	-13.3			-13.3	-14.8	-16.0	-11.5	-25.9	11.4	-23.1	10.8	3.0	15.4	13.5	19.5	13.1		27.7
		正値 値	<b>-8.9</b> -28.7		<b>-6.5</b> -21.6	-5.5	<b>-17.8</b> -17.5	-16.3	<b>-14.0</b> -14.1	-25.4	<b>11.8</b> -8.7	-26.5	<b>8.7</b> -3.3	6.5	10.4 2.8	5.9	<b>12.6</b> 10.4	8.8	2.2	20.4
	归	H IE	20.7		21.0		17.5		14.1		0.7		3.3		2.0		10.4			
	販	売 価格	-6.6	-16.7	15.4	0.0	25.9	8.0	15.4	18.5	40.0	15.4	56.8	32.4	35.9	43.2	37.8	30.7		32.4
価		// 修正値	-7.7	-14.3	14.7	-2.0	19.6	4.9	17.5	15.7	34.5	17.6	47.5	25.9	29.4	34.5	40.2	28.8	10.8	35.7
格動		〃 傾向値	-5.9		-4.8		1.3		8.9		18.4		29.4		35.8		39.8			
向	仕	入 価格	40.0	16.7	42.4	33.3	44.5	36.0	38.4	44.5	68.5	38.5	59.5	56.0	51.2	54.1	48.7	46.1		40.5
		// 修正值	38.8			33.0	45.8	26.5	39.4	42.4	60.9	39.1	47.1	51.3	50.4	43.2	50.1	44.4	-0.3	41.6
	l .	〃 傾向値	14.4		21.9		29.5		37.8		44.9		50.6		53.6		55.7			
在資	在	庫 数量	0.0			-6.7	-11.5	-8.0	-8.0	-11.5	-5.7	-8.0	-5.4	-5.9	0.0	0.0	-2.7	0.0		0.0
庫金・繰		<u>" 修正値</u>	-0.1	-10.0		-7.3	-8.3	-6.3	-6.4	-8.7	-6.0	-6.5	-5.6	-7.6	1.8	0.4	-2.0	2.2	-3.8	0.3
Ŋ	資	金 繰り	-20.0			-20.0	-3.7	-8.0	-11.6	-7.4	-11.4	-11.6		-8.8	-7.7	-13.5	-8.1	-5.1		-10.8
$\vdash$	±		-16.9			-15.4	-6.0	-7.4	-13.8	-10.9	-7.5	-12.6		-4.5		-14.2	-10.5	-9.8	0.7	-11.2
前同年期	売加	<u>上額</u> 益	10.0		-3.8 -11.6		14.8 -11.1		11.6 -3.9		8.5 11.5		24.3 27.0		23.1		35.2 24.3			
光	販	<del>盆</del> 売 価格	10.0		11.5		18.5		-3.9 19.2		40.0		48.7		43.6		45.9			
雇		業 時間	0.0			0.0		4.0	0.0	-3.7	-8.5	7.7	-8.1	-8.8		-8.1	-8.1	-7.7		-5.4
用用	人	<u>未 时间</u> 手	-3.3			-3.3	-3.7	-15.4	-11.6	0.0	-17.1	-7.7	-8.1	-11.8			-21.6	-15.4		-21.6
	借入	<u>,</u> (%)	6.7			6.7	7.4	3.8	0.0	3.7	17.1	20.0	13.9	8.8		10.8	11.1	10.5		10.8
借入		<u>、 とした (%)</u> (をしない (%)	93.3			93.3	92.6	96.2	100.0	96.3	82.9	80.0	86.1	91.2	89.5	89.2	88.9	89.5		89.2
金		入難易度	-4.4		6.3	55.0	0.0		-11.7	70.3	7.7	50.5	-6.9	J.,	-3.2	55.12	6.9	55.0		50.2
						00		07		00		25		07		20		07		
1	1月 幻り	回答事業所数		30		26		27		26		35		37		39		37		

小売業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

一	分類:業種台計								I										<u>計画)値です。</u> 
	調査期	令和	-	令和		令和-	-	令和		令和	-	令和	-		15年	令和		対	令和6年
項		4月~	6月期	7月~	9月期	10月~1	2月期	1月~	3月期	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	前期比	4月~6月期
	現在の設備	-10.0	-13.3	0.0	-6.7	-7.4	-3.8	-3.8	-7.4	-2.8	-4.0	-2.7	-3.0	-2.6	-2.7	-2.7	-2.6		-2.7
l	実施した	13.3	6.7	16.0	13.3	3.7	12.5	8.0	7.4	8.6	4.2	2.8	3.0	7.9	8.6	2.7	5.4		11.1
設備	事業用土地·建物	25.0	50.0	50.0	25.0	100.0	33.3	50.0	50.0	-	100.0	-	-	-	33.3	-	-		25.0
投資動	事務機器	25.0	50.0	50.0	25.0	-	33.3	50.0	50.0	33.3	-	100.0	100.0	-	33.3	-	-		25.0
動向	車両	25.0	-	-	-	-	-	-	-	66.7	_	-	-	33.3	33.3	100.0	50.0		25.0
(F) %	投																		
% 	資 内																		
	容の他	50.0	_	25.0	50.0	_	33.3	-	-	-	_	-	-	66.7	_	1	50.0		25.0
	実施しない	86.7	93.3	84.0	86.7	96.3	87.5	92.0	92.6	91.4	95.8	97.2	97.0	92.1	91.4	97.3	94.6		88.9
	売上の停滞・減少	33.3		30.8		29.6		23.1		20.0		24.3		23.1		16.2			
l	人手不足	20.0		19.2		11.1		11.5		20.0		18.9		20.5		21.6			
l	同業者間の競争の激化	16.7		15.4		14.8		11.5		20.0		24.3		33.3		32.4			
l	大型店との競争の激化	20.0		15.4		14.8		15.4		8.6		13.5		17.9		21.6			
l	輸入製品との競争の激化	3.3		3.8		14.0		- 10.4		- 0.0		10.0		- 17.0					
l		16.7		19.2		22.2		15.4		17.1		16.2		12.8		10.8			
1	利幅の縮小	10.7		19.2		22.2		13.4		17.1		10.2		12.0		2.7			
1	取扱商品の陳腐化	-				-				-		-		-					
1	販売商品の不足	3.3		-		-		-		2.9		2.7		5.1		2.7			
1	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		2.9		2.7		5.1		-			
経	仕入先からの値上げ要請	20.0		26.9		33.3		30.8		40.0		35.1		20.5		24.3			
営上	人件費の増加	6.7		3.8		3.7		11.5		8.6		10.8		17.9		16.2			
問	人件費以外の経費の増加	-		3.8				-		2.9		-		2.6		8.1			
題点	取引先の減少	6.7		7.7		3.7		3.8		5.7		2.7		2.6		-			
	商圏人口の減少	6.7		7.7		7.4		7.7		11.4		8.1		7.7		8.1			
, and	商店街の集客力の低下	13.3		3.8		14.8		11.5		14.3		10.8		12.8		13.5			
l	店舗の狭小・老朽化	3.3		3.8		3.7		3.8		2.9		-		2.6		5.4			
l	代金回収の悪化	-		-		-		-				-		-		-			
l	地価の高騰	-		-		3.7		-		-		-		-		-			
l	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		2.6		-			
l	天候の不順	10.0		-		7.4		7.7		11.4		16.2		10.3		8.1			
l	地場産業の衰退	-		-		-		3.8		2.9		2.7		-		-			
l	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-			
l																			
l	その他	3.3		3.8		3.7		3.8		-		-		-		-			
<u> </u>	問題なし	6.7		19.2		22.2		19.2		11.4		10.8		12.8		16.2			
	品揃えを改善する	16.7		15.4		22.2		15.4		11.4		13.5		12.8		13.5			
	経費を節減する	36.7		46.2		40.7		38.5		37.1		43.2		41.0		37.8			
	宣伝・広告を強化する	23.3		15.4		7.4		15.4		20.0		21.6		23.1		27.0			
	新しい事業を始める	3.3		_		3.7				5.7		2.7		2.6		2.7			
	店舗・設備を改装する	6.7		7.7		3.7		7.7		5.7		2.7		10.3		5.4			
	仕入先を開拓・選別する	13.3		15.4		7.4		11.5		17.1		21.6		15.4		13.5			
重点	営業時間を延長する	3.3		-		3.7		-		-		-		-		_			
経営施	売れ筋商品を取り扱う	10.0		3.8		14.8		3.8		11.4		16.2		17.9		13.5			
施策	商店街事業を活性化させる	16.7		7.7		11.1		11.5		17.1		16.2		15.4		16.2			
_	機械化を推進する	6.7		3.8		3.7		_		2.9		2.7		5.1		2.7			
%	人材を確保する	20.0		11.5		11.1		7.7		14.3		16.2		17.9		18.9			
	パート化を図る	_		-		-		_		-		2.7		_		_			
	教育訓練を強化する	-		_		-		_		8.6		5.4		7.7		5.4			
	輸入品の取扱いを増やす	_		_		_		-		_		_		_		_			
	不動産の有効活用を図る	3.3		_		7.4		15.4		5.7		2.7		_		2.7			
	その他			_		3.7								_		2.7			
	特になし	23.3		26.9		25.9		23.1		17.1		13.5		17.9		18.9			
		20.0		20.0		20.0		20.1				10.0		17.5		10.0			
] ;	有効回答事業所数		30		26		27		26		35		37		39		37		
																			i

サービス業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

注:各項目の右側は、	前期調査における予想	(計画)	値です。

□ 日本			調査期	令和	4年	令和	4年	令和	4年	令和	5年	令和	15年	令和	5年	令和	15年	令和	16年	対	令和6年
	項	目		4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	前期比	4月~6月期
통 나 448 22 500 500 500 32 500 300 22 23 300 152 227 100 109 122 87 152 152 152 152 152 152 152 152 152 152		良し	Λ.	6.9	6.5	8.3	7.1	8.0	12.5	8.0	4.0	20.5	4.0	21.7	22.7	21.7	15.2	14.9	23.9		12.8
□ 1 1 - 3-19 - 7-85 - 4-17 - 4-27 - 7-40 - 3-19 - 7-20 - 7-80		普道	<u>A</u>	48.3	61.2	41.7	42.9	60.0	37.5	56.0	64.0	52.2	60.0	63.1	54.6	67.4	73.9	72.3	67.4		76.6
日本語画	業況	悪し	1	44.8	32.3	50.0	50.0	32.0	50.0	36.0	32.0	27.3	36.0	15.2	22.7	10.9	10.9	12.8	8.7		10.6
機		D · 1	I	-37.9	-25.8	-41.7	-42.9	-24.0	-37.5	-28.0	-28.0	-6.8	-32.0	6.5	0.0	10.8	4.3	2.1	15.2		2.2
展 近 守 600 613 667 533 600 792 720 885 845 760 543 866 695 739 638 761 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		修正(	直	-31.8	-25.6	-38.9	-37.7	-23.6	-35.3	-32.2	-26.5	-4.2	-33.5	5.6	0.8	8.4	2.3	-1.4	12.6	-9.8	2.6
※ 日本	<u> </u>	傾向(	直	-34.4		-36.5		-36.6		-33.8		-29.0		-19.1		-8.7		-0.6			
京		増 カ	П	13.3	9.7	12.5	16.7	12.0	8.3	12.0	12.0	34.1	12.0	37.0	31.8	19.6	15.2	27.7	15.2		12.8
□ ○ · 1	١.	変らす	ř	60.0	61.3	66.7	53.3	68.0	79.2	72.0	68.0	54.5	76.0	54.3	56.8	69.5	73.9	63.8	76.1		80.8
接正信	上	減り	b .	26.7	29.0	20.8	30.0	20.0	12.5	16.0	20.0	11.4	12.0	8.7	11.4	10.9	10.9	8.5	8.7		6.4
接角値 -249 -205 -173 -120 -39 -52 118 168 168 168 168 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	額	D · 1	I	-13.4	-19.3	-8.3	-13.3	-8.0	-4.2	-4.0	-8.0	22.7	0.0	28.3	20.4	8.7	4.3	19.2	6.5		6.4
型 加 100 87 83 133 120 83 80 80 75 0 196 196 196 170 130 170 130 変		修正值	<u>首</u>	-9.7	-17.4	-9.5	-9.8	-8.4	-4.3	−5.1	-8.5	20.4	-0.9	21.5	18.4	11.0	2.8	18.3	7.4	7.3	7.0
度 5 ず 533 580 687 567 640 687 780 688 508 500 585 569 674 781 702 781 1 日本	<u> </u>	傾向(	直	-24.9		-20.5		-17.3		-12.0		-3.9		5.2		11.8		16.8			
□ 注 中		増 カ	П	10.0	9.7	8.3	13.3	12.0	8.3	8.0	8.0	27.3	4.0	32.6	29.5	19.6	13.0	17.0	13.0		6.4
世		変らす	f	53.3	58.0	66.7	56.7	64.0	66.7	76.0	68.0	56.8	80.0	56.5	56.9	67.4	76.1	70.2	76.1		87.2
世		減り	l)	36.7	32.3	25.0	30.0	24.0	25.0	16.0	24.0	15.9	16.0	10.9	13.6	13.0	10.9	12.8	10.9		6.4
横 商 値 -274 -253 -224 -18.1 -11.1 -1.5 -5.6 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5																					0.0
対象 価格 6.6 00 8.3 6.7 8.0 8.3 12.0 4.0 31.8 16.0 15.2 22.7 13.0 6.5 17.0 6.5 17.0 6.5 17.0 19.0 19.0 19.0 19.0 19.0 19.0 19.0 19					-19.8		-15.9		-16.0		-15.3		-11.4		10.5		0.0		3.3	-4.6	2.6
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1 1	⊢	傾向任	直	-27.4		-25.3		-22.4		-18.1		-11.1		-1.5		5.6		9.5			
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1																					
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1 1																					
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1 1																					
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1																					
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1																					
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1	⊢																				
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1	l																				
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1	l																				
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1 1	l																				
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1	l																				
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1	l																				
## 修正値 5.6 3.1 7.2 3.4 7.9 6.8 11.0 3.3 27.3 16.8 14.1 17.6 14.3 6.6 16.1 7.8 1.8 1 1	$\vdash$	del A																			
## 情報	l																				10.7
対 料 価 格 500 38.7 58.3 43.4 600 45.8 56.0 44.0 47.7 44.0 47.8 38.6 41.3 28.2 38.3 26.1 28.4 28.4 29.4 29.4 29.4 29.4 29.4 29.4 29.4 29					3.1		3.4		6.8		3.3		16.8		17.6		6.6		7.8	1.8	10.5
# 修正値 44.9 33.0 50.6 42.3 56.7 41.1 53.1 42.3 45.1 39.4 42.4 38.0 39.9 26.8 37.1 27.0 -2.8 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	動				00.7		40.4		45.0		440		440		20.0		00.0		00.4		20.0
# 傾向値 18.3 30.7 43.4 52.7 55.8 54.2 50.5 46.0 在資庫金 ※ 以 -10.0 -6.4 -8.3 -10.0 0.0 -4.1 -4.0 0.0 -2.3 -4.0 2.2 2.2 -10.9 -2.2 -2.1 -10.9 第一 ※ ※ 以 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	自																				29.8
変金 繰り       -10.0       -6.4       -8.3       -10.0       0.0       -4.1       -4.0       0.0       -2.3       -4.0       2.2       2.2       -10.9       -2.2       -2.1       -10.9         *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	l				33.0		42.3		41.1		42.3		39.4		38.0		20.8		27.0	-2.8	27.3
在資   作品   では   では   では   では   では   では   では   で	$\vdash$				-6.4		-10.0		-4.1		0.0		-4.0		2.0		-2.0		-10.0		0.0
売上 額 -6.6   0.0   -4.0   8.0   40.9   30.4   30.5   17.1   17.1   17.4   17	在資庫全																			Ω 2	1.1
売 上 額 -6.6	• 繰		沙山門	3.4	7.5	1.2	0.8	2.2	3.5	7.0	3.3	-1.2	3.9	3.3	3.8	10.1	1.2	-1.0	- 11.1	0.3	1,1
世界 世界 日本明	"																				
甲間 以 益 -13.8 -17.4 -12.5 -12.5 15.9 13.0 21.8 12.8	<u> </u>	売	上 頦	-6.6		0.0		-4 N		8.0		40 a		30.4		30.5		17 1			
展 残 業 時 間 -3.3 -9.6 0.0 -3.3 8.0 0.0 8.0 4.0 11.3 4.1 8.7 2.3 6.5 2.1 8.5 4.3	年期																				
用     人     手     -20.0     -16.2     -33.3     -16.7     -20.0     -33.3     -28.0     -20.0     -31.8     -25.0     -30.4     -32.6     -26.1     -32.6     -34.0     -26.1     -26.1       借金     世入をした (%)     16.7     12.9     12.5     6.7     16.0     8.3     8.0     8.0     15.9     12.0     6.5     11.4     17.4     13.0     19.1     20.0       企     借入をしない (%)     83.3     87.1     87.5     93.3     84.0     91.7     92.0     92.0     84.1     88.0     93.5     88.6     82.6     87.0     80.9     80.0       借入 難易度     8.3     18.8     13.3     12.5     0.0     -5.2     -5.3     -2.9	比	_		70.0		.,		12.0		12.0		10.0		10.0		21.0		12.0			
用     人     手     -20.0     -16.2     -33.3     -16.7     -20.0     -33.3     -28.0     -20.0     -31.8     -25.0     -30.4     -32.6     -26.1     -32.6     -34.0     -26.1     -26.1       借金     世入をした (%)     16.7     12.9     12.5     6.7     16.0     8.3     8.0     8.0     15.9     12.0     6.5     11.4     17.4     13.0     19.1     20.0       企     借入をしない (%)     83.3     87.1     87.5     93.3     84.0     91.7     92.0     92.0     84.1     88.0     93.5     88.6     82.6     87.0     80.9     80.0       借入 難易度     8.3     18.8     13.3     12.5     0.0     -5.2     -5.3     -2.9	雇	残 業	時間	-3.3	-9.6	0.0	-3.3	8.0	0.0	8.0	4.0	11.3	4.1	8.7	2.3	6.5	2.1	8.5	4.3		0.0
借入をした (%)     16.7     12.9     12.5     6.7     16.0     8.3     8.0     8.0     15.9     12.0     6.5     11.4     17.4     13.0     19.1     20.0     20.0       借入をしない (%)     83.3     87.1     87.5     93.3     84.0     91.7     92.0     92.0     84.1     88.0     93.5     88.6     82.6     87.0     80.9     80.0       借入 難易度     8.3     18.8     13.3     12.5     0.0     -5.2     -5.3     -2.9		人																			-29.8
□	ı#	借入をし																			21.3
量     借入難易度     8.3     18.8     13.3     12.5     0.0     -5.2     -5.3     -2.9	入																				78.7
	金																				
有別四百字末/7  双   50   24   25   25   44   40   40   47					20		24		O.F.		25		44		46		46		47		
	$\bigsqcup^1$	■刈凹合	尹未川		30		24		25		25		44		46		46		4/		

サービス業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

注:各項目の右側は.	前期調査における予想	(計画)値です。

		調査期		]4年	令和		令和		令和	-	令和		令和	-	令和	-		]6年	対	令和6年
項	且		4月~		7月~		10月~		1月~		4月~		7月~		10月~		1月~		前期比	4月~6月期
	現	在の設備	-6.7	-6.7	-4.3	-6.7	-4.0	-4.3	-4.0	-4.0	-2.2	-4.0	-6.5	-2.3	-8.7	-6.5	-6.4	-6.5		-6.4
	実	施した	20.7	16.1	8.7	24.1	8.0	8.7	16.0	8.0	25.0	16.0	24.4	21.4	15.6	16.3	19.6			20.9
設備		事業用地・建物	16.7	-	-	14.3	-	-	25.0	_	18.2	25.0	9.1	11.1	14.3	42.9	11.1	12.5		44.4
投		機械・設備の新・増設	16.7	-	-	14.3	-	-	-	_	9.1	-	9.1	_	14.3	-	22.2	25.0		33.3
資動	<b>♣</b> ⊓.	機械・設備の更改	33.3	-	-	42.9	-	-	-	_	18.2	-	18.2	_	28.6	14.3	22.2	37.5		22.2
向 (%)	晃	事務機器	-	20.0	-	-	-	-	-	_	27.3	-	9.1	22.2	-	-		-		11.1
	容	車両	50.0	80.0	100.0	42.9	100.0	100.0	75.0	100.0	45.5	75.0	54.5	66.7	57.1	42.9	44.4	37.5		33.3
		その他	79.3	83.9	91.3	75.9	92.0	- 01.0	84.0	92.0	75.0	84.0	75.6	11.1	84.4	83.7	80.4	81.4		79.1
	T	施しない 上の停滞・減少	43.3	83.9	33.3	75.9	28.0	91.3	28.0	92.0	75.0 22.7	84.0	21.7	78.6	19.6	83.7	10.6			79.1
		上の行用・減少 手不足	20.0		20.8		20.0		28.0		31.8		37.0		32.6		31.9			
		業者間の競争の激化	23.3		16.7		16.0		16.0		18.2		19.6		19.6		25.5			
		条名間の競争の激化 企業との競争の激化	10.0		12.5		10.0		8.0		6.8		8.7		6.5		8.5			
		理化の不足	10.0		-		_		- 0.0		-		- 0.7		- 0.5		- 0.5			
		幅の縮小	10.0		8.3		4.0		12.0		9.1		13.0		10.9		8.5			
		扱事務の陳腐化	- 10.0		-		-1.5		- 12.5		2.3		2.2		2.2		2.1			
		料価格の上昇	33.3		20.8		36.0		28.0		31.8		34.8		28.3		31.9			
		金の値下げ要請	-		4.2		4.0		8.0		-		-		-		-			
		件費の増加	10.0		4.2		4.0		8.0		15.9		17.4		15.2		14.9			
経	人	件費以外の経費の増加	3.3		8.3		8.0		12.0		4.5		2.2		4.3		4.3			
営上	技	術力の不足	6.7		4.2		4.0		4.0		-		-		2.2		4.3			
問	取	引先の減少	6.7		4.2		4.0		4.0		9.1		4.3		4.3		6.4			
題点	商	圏人口の減少	3.3		-		-		-		-		-		4.3		2.1			
(%)	地	価の高騰	-		-		-		-		2.3		2.2		2.2		2.1			
	駐	車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		_			
	店	舗・設備の狭小・老朽化	-		-		-		-		2.3		2.2		6.5		_			
	代	金回収の悪化	-		-		-		-		2.3		2.2		-					
	天	候の不順	3.3		4.2		8.0		-		2.3		2.2		-					
	地	場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		_			
	大	手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-					
	7.	O (th			4.2				4.0		6.0									
		題なし	10.0		20.8		20.0		20.0		6.8 13.6		13.0		17.4		19.1			
	Т	路を広げる	60.0		50.0		44.0		40.0		47.7		41.3		43.5		38.3			
		費を節減する	46.7		50.0		52.0		44.0		34.1		34.8		39.1		31.9			
		伝・広告を強化する	16.7		12.5		20.0		12.0		13.6		13.0		10.9		14.9			
	г	しい事業を始める	3.3		-		-		-		4.5		6.5		4.3		2.1			
	г	舗・設備を改装する	3.3						4.0		4.5		4.3		6.5		6.4			
	г	携先を見つける	3.3		8.3		4.0		8.0		4.5		10.9		2.2		4.3			
重		術力を強化する	20.0		4.2		4.0		16.0		2.3		6.5		8.7		6.4			
点経	機	械化を推進する	-		-		-		-		2.3		-		-		2.1			
営施	٨	材を確保する	26.7		20.8		16.0		24.0		25.0		37.0		30.4		34.0			
策 (%)	/ŝ	―ト化を図る	3.3		_		_		-		2.3		-		-		-			
(4)	教	育訓練を強化する	3.3		8.3		8.0		4.0		9.1		6.5		6.5		12.8			
	労	働条件を改善する	3.3		_		_		4.0		11.4		8.7		10.9		12.8			
	不	動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		2.2		2.1			
	H																			
	H																			
		の他	-		-		-				-		- 10.0		-		- 100			
$\vdash$	特	になし	6.7		16.7		16.0		16.0		13.6		10.9		13.0		12.8			
	有交	协回答事業所数		30		24		25		25		44		46		46		47		

建設業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

令和6年1月~ 3月期 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

	分類: 耒悝合計						左 . 日 ?	見口の心臓は、	刊 河 刷 且 に 03 17 %	) 予想(計画) 値です。
1	調査期	令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	令和5年	令和6年	対 令和6年
項	目	4月~6月期	7月~9月期	10月~12月期	1月~3月期	4月~6月期	7月~ 9月期	10月~12月期	1月~3月期	前期比 4月~6月期
	良い	19.2 7.7	13.6 8.0	25.0 13.0	21.7 20.8	22.7 18.2	27.1 31.8	26.0 34.8	22.4 32.0	20.4
1	普 通	69.3 69.2	81.9 76.0	58.3 74.0	47.9 66.7	68.2 59.1	58.3 59.1	64.0 58.7	67.4 58.0	69.4
業										
況	悪い	11.5 23.1	4.5 16.0	16.7 13.0	30.4 12.5	9.1 22.7	14.6 9.1	10.0 6.5	10.2 10.0	10.2
1	D · I	7.7 -15.4	9.1 -8.0	8.3 0.0	-8.7 8.3	13.6 -4.5	12.5 22.7	16.0 28.3	12.2 22.0	10.2
1	修正値	10.1 -17.6	9.6 -1.5	2.8 -0.9	-2.7 4.3	16.9 -4.6	9.6 27.3	9.4 25.0	18.5 17.6	9.1 16.2
	傾 向 値	-6.8	-2.2	1.4	3.3	4.8	6.0	7.4	11.0	
1	増 加	26.9 15.4	26.1 11.5	12.5 13.0	21.7 12.5	36.4 13.6	32.7 34.1	32.0 24.5	30.6 22.0	24.5
1	変らず	57.7 65.4	60.9 73.1	70.8 78.3	52.2 75.0	52.2 63.7	51.0 59.1	52.0 69.4	55.1 72.0	69.4
売上	減少	15.4 19.2	13.0 15.4	16.7 8.7	26.1 12.5	11.4 22.7	16.3 6.8	16.0 6.1	14.3 6.0	6.1
10R	D · I	11.5 -3.8		-4.2 4.3	-4.4 0.0	25.0 -9.1	16.4 27.3	16.0 18.4	16.3 16.0	18.4
	修正値	17.2 -8.4	15.4 -0.7	-6.2 1.1	-4.1 3.0	30.6 -10.3	16.8 28.6	12.7 16.4	16.3 18.1	3.6 18.3
	傾 向 値	-10.6	-3.7	1.3	3.1	5.7	7.8	10.7	15.8	
1	増 加	19.2 7.7	21.7 7.7	16.7 8.7	17.4 12.5	34.9 13.6	25.0 30.2	26.0 18.8	22.4 22.0	20.4
	変らず	65.4 69.2	65.3 76.9	70.8 82.6	60.9 70.8	55.8 63.7	64.6 60.5	68.0 72.9	69.4 72.0	73.5
受	減少	15.4 23.1	13.0 15.4	12.5 8.7	21.7 16.7	9.3 22.7	10.4 9.3	6.0 8.3	8.2 6.0	6.1
注残	D · I							20.0 10.5		
<b> </b> ~		3.8 -15.4			-4.3 -4.2		14.6 20.9			14.3
	修正値	7.7 -16.9	12.2 -6.1	-0.6 -1.5	-2.5 -1.8	29.1 -8.1	17.7 19.6	14.1 10.1	16.5 16.9	2.4 16.6
$\vdash$	傾 向 値	-9.6	-4.7	0.8	2.7	5.8	9.3	12.0	16.3	
	増 加	23.1 7.7	17.4 7.7	20.8 13.0	26.1 12.5	34.1 22.7	28.6 31.8	22.0 26.5	28.6 16.0	24.5
	変らず	57.7 69.2	69.6 73.1	66.7 78.3	52.2 75.0	59.1 54.6	63.2 61.4	70.0 67.4	65.3 78.0	69.4
施	減少	19.2 23.1	13.0 19.2	12.5 8.7	21.7 12.5	6.8 22.7	8.2 6.8	8.0 6.1	6.1 6.0	6.1
工高	D · I	3.9 -15.4	4.4 -11.5	8.3 4.3	4.4 0.0	27.3 0.0	20.4 25.0	14.0 20.4	22.5 10.0	18.4
	修正値	10.9 -16.7	9.0 -3.8	-0.3 0.4	4.2 -2.1	33.6 -0.1	25.5 31.2	6.1 15.9	21.0 7.9	14.9 19.0
	傾向値	-6.8	-2.3	1.7	3.7	8.2	13.1	15.8	18.8	14.0
$\vdash$										20.4
1	増 加	26.9 3.8	8.7 11.5	8.3 13.0	17.4 8.3	27.3 4.5	22.4 29.5	28.0 20.4	24.5 24.0	20.4
	変 らず	61.6 77.0		75.0 78.3	47.8 83.4	56.8 63.7	61.3 59.1	56.0 73.5	55.1 68.0	65.3
収 益	減少	11.5 19.2	17.4 23.1	16.7 8.7	34.8 8.3	15.9 31.8	16.3 11.4	16.0 6.1	20.4 8.0	14.3
_	D · I	15.4 -15.4	-8.7 -11.6	-8.4 4.3	-17.4 0.0	11.4 -27.3	6.1 18.1	12.0 14.3	4.1 16.0	6.1
	修正値	16.0 -13.2	-2.7 -9.3	-14.6 -1.5	-13.1 0.9	10.0 -22.2	12.5 16.7	3.7 7.9	9.0 14.2	5.3 14.6
	傾 向 値	-6.7	-2.5	-2.3	-4.1	-5.3	-3.9	0.5	5.7	
	請負価格	23.1 7.7	13.1 19.2	8.3 26.1	-4.4 8.3	34.1 4.5	28.6 22.7	30.0 30.6	28.6 24.0	24.5
	"修正值	20.6 7.2	14.2 15.7	8.2 20.7	-1.8 13.4	28.8 6.1	27.7 19.8	26.6 22.5	28.7 26.7	2.1 24.7
価格	" 傾向値	4.8	10.3	13.0	11.5	11.4	14.7	19.4	26.2	
動		69.2 57.7	69.7 69.2	79.2 56.6			75.5 65.9			57.2
向										
		72.5 47.1	71.6 69.2	69.9 58.7	70.3 71.2	84.3 66.0	75.0 68.1	50.5 71.5	56.2 45.6	5.7 51.4
$\vdash$	パ 傾向値	40.9	55.8	65.3	71.5	75.4	77.4	75.5	70.7	
在資	在 庫 数量	0.0 0.0	-8.7 -3.8	-8.3 -13.1	-13.7 -12.5	-2.3 -19.0	2.0 -2.3	2.0 2.1	2.1 2.0	-2.0
庫金	〃 修正値	0.8 -1.5	-6.0 -0.2	-9.5 -11.1	-13.7 -13.8	-2.8 -19.2	2.6 -2.0	0.5 1.9	1.9 0.3	1.4 -0.8
・繰 り	資 金 繰り	3.9 0.0	0.0 -3.8	-8.3 -17.4	-26.1 0.0	4.5 -13.6	-10.2 4.5	-8.0 -10.2	-6.1 -4.0	4.0
L	〃 修正値	3.4 -1.1	0.5 -5.0	-7.6 -14.5	-24.2 -2.5	2.5 -13.1	-10.3 1.2	-7.3 -6.9	-4.4 -6.5	2.9 3.8
	売 上 額	23.1	0.0	-4.1	-8.7	29.6	30.7	18.0	31.3	
前同 年期	収 益	15.4	-4.3	-16.7	-17.4	9.0	10.2	6.0	23.0	
比	<u>^</u>	10.7	7.0	10.7	17.7	3.0	10.2	0.0	20.0	
H	Th all -+ 55			4.0			2.0			
雇用	残業時間	-3.9 -4.0		4.2 0.0			2.0 -4.6	2.0 0.0	0.0 2.0	-6.2
$\vdash$	人 手	-20.0 -32.0			-43.5 -37.5		-28.6 -40.9	-36.0 -30.7	-36.7 -36.7	-35.4
借	借入をした (%)	23.1 11.5	21.7 11.5	25.0 4.3	21.7 33.3	31.8 18.2	36.7 31.8	32.0 22.4	20.4 24.0	22.9
入金	借入をしない (%)	76.9 88.5	78.3 88.5	75.0 95.7	78.3 66.7	68.2 81.8	63.3 68.2	68.0 77.6	79.6 76.0	77.1
	借入難易度	0.0	0.0	4.8	5.0	4.7	-2.2	2.1	0.0	
,	有効回答事業所数	26	23	24	23	45	49	50	49	
L¹	1 が凹らず未川数		23			45	49	30	49	

建設業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

令和6年1月~ 3月期 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

	分類:業種合計												汪:各	リロの石	側は、	<b>削期調査</b>	における	→ 想()	計画)値です。
	調査期	令和	]4年	令和	4年	令和	4年	令和	5年	令和	15年	令和	5年	令和	5年	令和	16年	対	令和6年
項	目	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~:	3月期	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	前期比	4月~6月期
	現在の設備	0.0	-8.3	-4.3	0.0	0.0	-4.3	-4.3	0.0	-9.1	-4.3	-4.1	-9.1	2.0	-4.1	-2.1	0.0		0.0
	実_施 した	15.4	15.4	13.6	11.5	17.4	9.1	31.8	21.7	22.7	22.7	21.7	16.3	25.0	17.8	26.7	22.9		23.8
設	事業用地·建物	-	_	-	-	-	-	14.3	20.0	30.0	20.0	30.0	28.6	16.7	37.5	25.0	18.2		30.0
備投	機械・設備の新・増設	75.0	-	33.3	33.3	_	50.0	-	1	1	20.0	-	1	8.3	12.5	8.3	9.1		10.0
資	機械・設備の更改	25.0	_	66.7	1	25.0	50.0	28.6	40.0	10.0	20.0	-	28.6	25.0	_	33.3	36.4		20.0
動向	投車務機架	_	25.0	-	33.3	25.0	-	42.9	40.0	20.0	20.0	-	14.3	25.0	12.5	25.0	27.3		40.0
(%)	資 車両	50.0	75.0	33.3	66.7	75.0	50.0	71.4	40.0	60.0	60.0	60.0	57.1	66.7	62.5		63.6		40.0
	容その他	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	10.0		-	12.5		_		
	実施しない	84.6	84.6	86.4	88.5	82.6	90.9	68.2	78.3	77.3	77.3	78.3	83.7	75.0	82.2	73.3	77.1		76.2
	売上の停滞・減少	23.1		26.1		16.7		21.7		17.8		20.4		14.0		12.2			
	人手不足	34.6		43.5		45.8		39.1		46.7		36.7		46.0		49.0			
	大手企業との競争激化	-		4.3		4.2		8.7		2.2		10.2		8.0		14.3			
		19.2		17.4		12.5		13.0		6.7		14.3		18.0		18.4			
	同業者間の競争の激化	19.2		17.4		12.0		13.0		0.7		14.3				10.4			
	親企業による選別の強化	_		4.0		_		-		2.2		4.4		2.0		-			
	合理化の不足	-		4.3		-		17.4				4.1		2.0		2.0			
	利幅の縮小	26.9		8.7		20.8		17.4		17.8		14.3		10.0		10.2			
	材料価格の上昇	50.0		52.2		54.2		65.2		64.4		55.1		58.0		40.8			
	下請の確保難	11.5		13.0		25.0		17.4		8.9		12.2		16.0		16.3			
40	駐車場・資材置場の確保難			-				4.3		4.4		6.1		10.0		4.1			
経営	人件費の増加	7.7		4.3		8.3		8.7		8.9		16.3		12.0		18.4			
上の	人件費以外の経費の増加	-		-		-		8.7		2.2		2.0		2.0		4.1			
問題	技術力の不足	_		-		4.2		4.3		-		-		-		-			
点 (%)	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
(/4/	天候の不順	3.8		4.3		4.2		-		4.4		2.0		4.0		-			
	地場産業の衰退	-		4.3		-		-		-		2.0		2.0		2.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		2.0		2.0			
	その他	3.8		8.7		-		-		-		2.0		-		4.1			
	問題なし	15.4		8.7		16.7		17.4		6.7		6.1		8.0		10.2			
	販路を広げる	26.9		34.8		41.7		39.1		35.6		49.0		48.0		55.1			
	経費を節減する	34.6		60.9		33.3		34.8		31.1		36.7		30.0		26.5			
	情報力を強化する	26.9		30.4		12.5		26.1		15.6		20.4		14.0		10.2			
	新しい工法を導入する	3.8		4.3		4.2		-		4.4		-		4.0		4.1			
	新しい事業を始める	3.8		-		-		4.3		4.4		4.1		6.0		6.1			
	技術力を高める	11.5		4.3		4.2		8.7		4.4		8.2		16.0		18.4			
重	人材を確保する	53.8		34.8		45.8		43.5		55.6		42.9		42.0		40.8			
点経	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
営施	教育訓練を強化する	3.8		-		8.3		13.0		13.3		6.1		10.0		6.1			
策 (%)	労働条件を改善する	-		-		8.3		4.3		11.1		6.1		10.0		8.2			
(3)	不動産の有効活用を図る	3.8		4.3		8.3		4.3		2.2		6.1		10.0		6.1			
	その他	-		_		-				2.2		2.0		2.0		2.0			
	特になし	19.2		21.7		20.8		21.7		8.9		4.1		4.0		6.1			
,	有効回答事業所数		26		23		24		23		45		49		50		49		
					-3						.5						.5		

不動産業 地域名:杉並区 中分類:業種合計

注・各項目の右側は	前期調査における予想	(計画) 値です。

$\overline{}$	カ規	: 耒悝1													<b>在</b> . 音·	項目の石	関は、	川州副且	1-1011/6	ו איני ע	十四)1担です。
1			調査期	令和	4年	令和	4年	令和	4年	令和	5年	令和	5年	令和	5年	令和	5年	令和	16年	対	令和6年
項	且			4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	前期比	4月~6月期
1	良	い		5.6	-	15.4	5.6	5.9	15.4	11.8	11.8	20.8	-	23.1	17.4	24.0	25.0	28.0	20.0		25.0
	普	通		72.2	88.9	61.5	72.2	76.5	61.5	76.4	76.4	66.7	88.2	65.4	69.6	72.0	66.7	68.0	72.0		66.7
業	悪	い		22.2	11.1	23.1	22.2	17.6	23.1	11.8	11.8	12.5	11.8	11.5	13.0	4.0	8.3	4.0	8.0		8.3
況	D	• і		-16.6	-11.1	-7.7	-16.6	-11.7	-7.7	0.0	0.0	8.3	-11.8	11.6	4.4	20.0	16.7	24.0	12.0		16.7
l	修	正値		-4.4	-15.2	-9.0	-11.0	-9.2	-6.8	-7.0	3.3	21.3	-14.9	10.7	11.4	20.4	14.0	13.9	11.7	-6.5	13.4
	傾	向 値		-17.3		-16.2		-13.8		-11.1		-5.9		-0.4		6.0		13.0			
	増	加		5.6	-	7.7	5.6	17.6	7.7	29.4	5.9	16.7	11.8	26.9	8.7	24.0	24.0	36.0	44.0		40.0
l	変	らず		72.2	77.8	69.2	77.7	64.8	76.9	58.8	88.2	62.5	64.7	53.9	82.6	56.0	72.0	52.0	52.0		52.0
売	減	少		22.2	22.2	23.1	16.7	17.6	15.4	11.8	5.9	20.8	23.5	19.2	8.7	20.0	4.0	12.0	4.0		8.0
上 額		· 1		-16.6	-22.2		-11.1	0.0	-7.7	17.6	0.0	-4.1	-11.7	7.7	0.0	4.0	20.0	24.0	40.0		32.0
		正 値		-3.4	-22.7	-14.8	-4.1	-0.2	-10.3	6.6	-0.7	9.2	-9.6	11.6	8.5	6.2	13.5	8.1	28.7		32.0
		<u>市</u> 値		-26.4		-20.7		-14.3	10.0	-7.2	0.7	-2.0	0.0	2.4	0.0	5.8	10.0	7.1	20.7	1.0	02.0
	増	加加		5.6		7.7	11.1	11.8	15.4	23.5	11.8	20.8	5.9	30.8	4.3	28.0	12.0	28.0	44.0		40.0
					00.0																
		<u>らず</u>		72.2	83.3	61.5	72.2	64.7	61.5	64.7	82.3	66.7	64.7	57.7	91.4	56.0	84.0	56.0	48.0		52.0
収 益	滅_	<u>少</u>		22.2	16.7	30.8	16.7	23.5	23.1	11.8	5.9	12.5	29.4	11.5	4.3	16.0	4.0	16.0			8.0
		· I		-16.6	-16.7	-23.1	-5.6	-11.7	-7.7	11.7	5.9	8.3	-23.5	19.3	0.0	12.0	8.0	12.0			32.0
		正 値		-5.0	-18.7	-21.8	-1.2	-12.1	<b>−5.5</b>	4.2	2.8	18.1	-20.3	21.9	4.5	14.4	9.6	3.5	22.2	-10.9	32.7
_	傾	向 値		-20.8		-17.5		-16.3		-12.8		-6.8		1.6		9.9		12.9			
1																					
	販	赤	価 格	0.0	5.9	0.0	0.0	11.7	0.0	41.2	23.5	29.1	5.8	38.5	8.7	16.0	36.0	37.5	24.0		37.5
	7//		修正値	4.9	5.8		3.0	11.3	-1.6	30.6	21.6	32.8	6.1	38.8	13.2	17.3	31.3	25.8	18.0		33.8
価			傾向値	2.3	0.0	3.0	0.0	3.7	1.0	8.8	21.0	16.9	0.1	25.3	10.2	30.7	01.0	30.7	10.0	0.0	00.0
格動					0.0		00.0		77		25.0		21.2		01.7		40.0		41.0		45.0
向	仕		価格	22.2			22.2	35.3	7.7	43.8	35.3	41.7	31.3	50.1	21.7	41.6	40.0	58.3	41.6		45.8
		"	修正値	21.0	-0.8	13.2	23.6	33.3	11.3	36.2	31.7	37.8	27.5	55.5	23.2	40.1	42.1	48.2	34.9	8.1	39.4
$\vdash$	_		傾向値	15.1		16.0		18.5		24.0		29.7		37.4		43.5		46.1			
在資	在	庫	数量	-5.5	0.0		-5.5	-12.5	-15.4	-11.7	-12.5	0.0	-11.7	-19.3	0.0	-16.0	-28.0	-28.0			-24.0
庫金・繰	<u> </u>		修正値	-3.9	-7.4		-5.5		-7.2		-13.4	-0.4	-16.5		-3.6	-15.6	-18.9	-26.8			-25.0
ij	資		繰り	0.0	-5.5		5.6		7.7		5.9				17.4						12.0
$\vdash$			修正値	-3.0	−8.5		3.2	7.4	9.2	3.7	8.2	15.2	-1.5	21.9	12.7	15.3	14.9	17.6	10.8	2.3	10.9
前同	売	上		-5.6		0.0		5.9		-5.9		8.3		15.4		0.0		-4.0			
年期 比	収		益	-5.6		-7.7		5.9		-5.9		16.7		19.3		0.0		4.0			
<u> </u>																					
雇	残	業	時間	-22.2	-16.7	-7.7	-22.2	-17.6	-15.4	-5.9	-5.9	-4.2	-5.9	0.0	0.0	8.0	0.0	4.0	4.0		0.0
用	人		手	-11.8	-22.2	-15.4	-11.8	-17.6	-15.4	-11.8	-17.6	-8.3	-11.8	-19.2	-13.0	-20.0	-24.0	-4.0	-20.0		-4.0
借	借力	しをした	(%)	22.2	16.7	23.1	22.2	23.5	23.1	17.6	35.3	37.5	35.3	38.5	47.8	36.0	40.0	40.0	32.0		48.0
入金	借力	しをしな	(%)	77.8	83.3	76.9	77.8	76.5	76.9	82.4	64.7	62.5	64.7	61.5	52.2	64.0	60.0	60.0	68.0		52.0
亚	借	入業	基易 度	6.7		18.2		7.2		0.0		9.5		4.1		12.0		8.3			
,	5 ***	司梦市	幸 示 券		10		10		17		17		24		26		O.F.		O.F.		
1	幻	<b>当合争</b>	業所数		18		13		17		17		24		26		25		25		

# 不動産業 地域名:杉並区中分類:業種合計

# 中小企業景況調査 転記表 No.2

令和6年1月~3月期 注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

	調査期		14年	令和		令和		令和		令和		令和			15年	令和		対	令和6年
項	<u> </u>	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	4月~	6月期	7月~	9月期	10月~	12月期	1月~	3月期	前期比	4月~6月期
$\vdash$	ましの信世 オ小	16.7		15.4		23.5		22.5		16.7		26.0		20.0		16.0			
	売上の停滞・減少 人手不足	16.7 11.1		15.4 15.4		11.8		23.5 5.9		16.7 8.3		26.9 7.7		20.0		16.0 8.0			
		11.1		7.7		11.8		17.6		20.8		15.4		24.0		12.0			
	大手企業との競争の激化 同業者間の競争の激化	50.0		46.2		35.3		23.5		16.7		26.9		20.0		36.0			
						35.3													
	利幅の縮小 商品物件の不足	16.7 33.3		7.7 46.2		41.2		17.6 29.4		8.3 25.0		15.4 42.3		8.0 36.0		12.0 48.0			
	商品物件の不足	33.3		30.8		35.3		47.1		41.7		46.2		48.0		40.0			
	人件費の増加	5.6		7.7		5.9		11.8		12.5		7.7		4.0		8.0			
	人件費以外の経費の増加	- 0.0				5.9		5.9		8.3		3.8		8.0		12.0			
	代金回収の悪化	_				- 0.9		- 0.9		- 0.0		- 0.0		4.0		-			
経	1(並四次の心心													4.0					
経 営 上																			
の問																			
題点																			
(%)																			
	その他	-		-		5.9		5.9		12.5		3.8		-		-			
	問題なし	16.7		30.8		5.9		11.8		12.5		7.7		16.0		12.0			
	販路を広げる	38.9		23.1		23.5		29.4		12.5		26.9		28.0		28.0			
	経費を節減する	27.8		30.8		29.4		17.6		4.2		11.5		28.0		24.0			
	宣伝・広告を強化する	22.2		7.7		23.5		17.6		8.3		26.9		16.0		16.0			
	情報力を強化する	55.6		61.5		58.8		64.7		66.7		46.2		48.0		56.0			
	新しい事業を始める	5.6		-		11.8		5.9		8.3		7.7		8.0		12.0			
	提携先を見つける	5.6		7.7		-		11.8		4.2		7.7		8.0		12.0			
重	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		_		-			
点経営施策	人材を確保する	5.6		7.7		11.8		5.9		12.5		15.4		12.0		12.0			
営施	パート化を図る	-		-		_		_		-		-		4.0		4.0			
策 (%)	教育訓練を強化する	5.6		7.7		11.8		-		8.3		3.8		8.0		8.0			
"	労働条件を改善する	-		-		5.9		-		8.3		3.8		-		-			
	不動産の有効活用を図る	11.1		7.7		11.8		29.4		37.5		26.9		24.0		16.0			
	その他	_		-		-		-		-		-		-		-			
$\vdash$	特になし	5.6		15.4		11.8		23.5		12.5		7.7		8.0		8.0			
	有効回答事業所数		18		13		17		17		24		26		25		25		

# 杉並区 中小企業の景況

令和5年度第4四半期(令和6年1月~3月)

令和6年5月発行

登録印刷物番号 06-0008(1)

【発 行】杉並区 産業振興センター杉並区上荻 1-2-1 Daiwa 荻窪タワー2 階TEL: O3 (5347) 9077

【調 査 機 関】一般社団法人 東京都信用金庫協会 中央区京橋3-8-1 信用金庫会館 京橋別館 12F TEL: 03 (6228) 8556

【分析委託業者】株式会社 東京商工リサーチ

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/shigoto/chusho/1016968.html